

テーマ2 （初級～中級編）

①ワードの図形作成機能

「寅」

はじめに

1. このレッスンで行うこと・・・

今回は、ワープロソフトで絵を描いてみましょう。

たぶん、意外に思われることでしょう。

Word は、文章を作成するビジネスソフト。

実は、この Word をはじめとして兄弟ソフトの Excel、Power Point、Access には、「オートシェイプ」という簡単な図形ツールが付属しています。この図形ツールの機能を利用して、絵を描いてしまおう、というわけです。

パソコンで絵を描く専用のソフトは数多くあります。

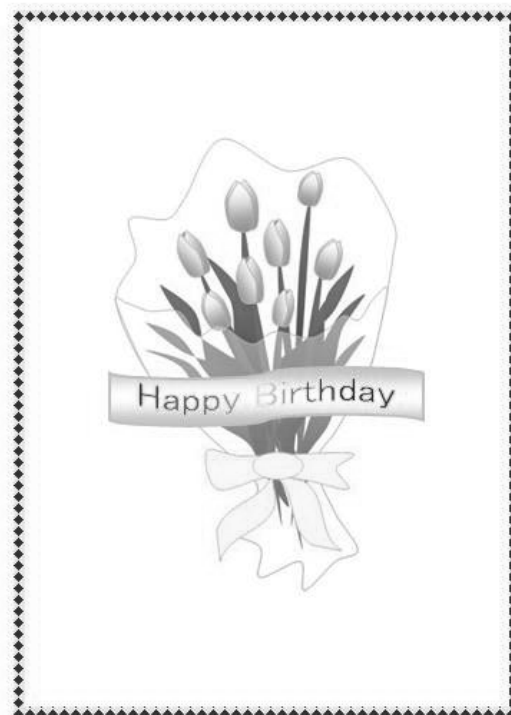
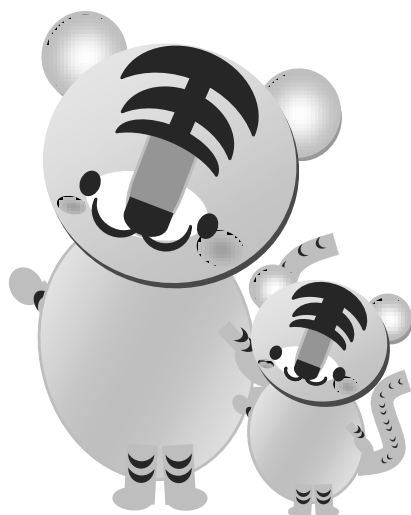
しかし、それぞれに操作が異なり、絵を描く以前にそのソフトの操作方法を覚えなければなりません。

その点、Word や Excel は、少し使ったことがある人が大半です。

いつも使っているソフトで、絵を描くことができれば、それだけで楽しくなります。

オートシェイプの機能は、ただ、地図を描いたり組織図を描いたりするだけではもったいないほどの、おもしろい便利な機能がたくさん含まれています。絵の具も画用紙も使わず、マウスだけで（必要ならキーボードも使って）絵が描けます

今回は、干支のひとつ「トラくん」と「チューリップの花束」を描きながら、オートシェイプアートの最初の一步を踏み出してみましょう。



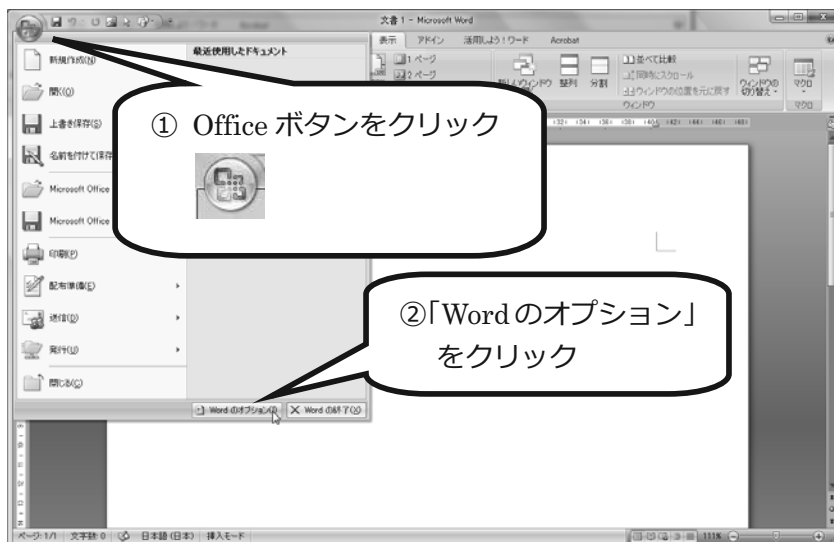
2. テキストを使う際のご注意

このテキストは、Windows Vista を搭載したパソコンにインストールされた Microsoft Office Word 2007 を使用した場合を例に説明しています。

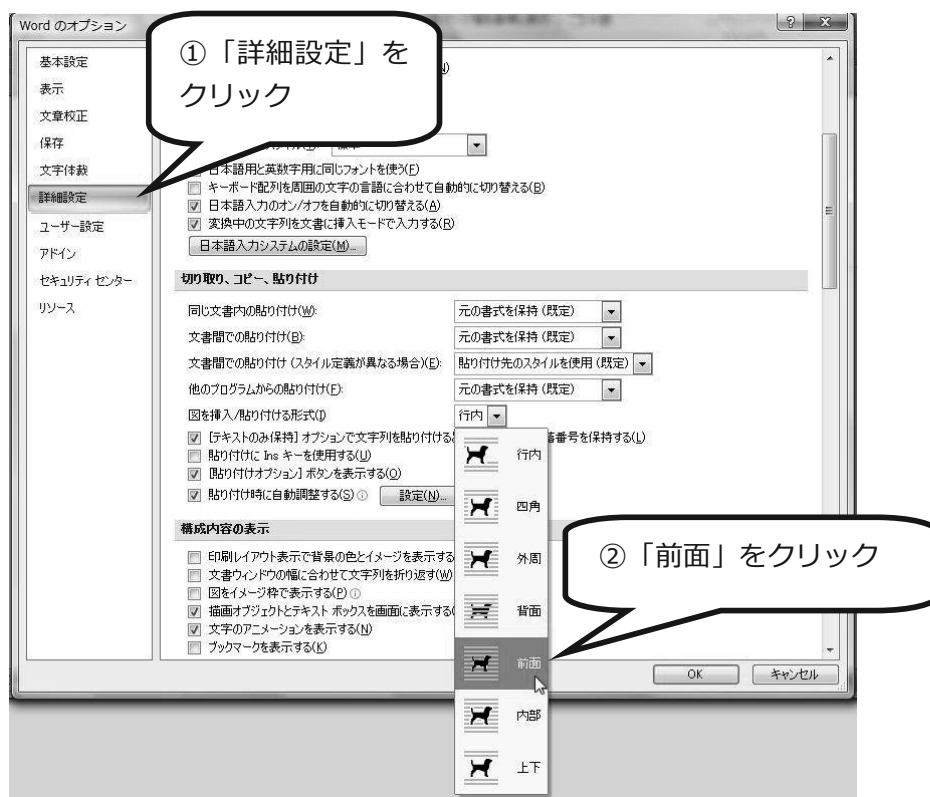
1. 準備

まず、描画しやすいように Word 2007 に設定を加えておきましょう。

Office ボタンをクリックして、「Word のオプション」を選択します。

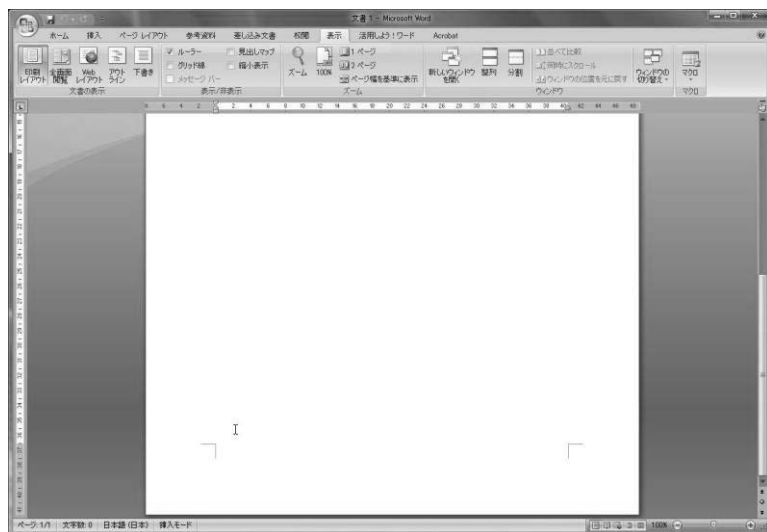


「詳細設定」から「切り取り、コピー、貼り付け」から「図を挿入／貼り付ける形式」を**前面**にしておきます。

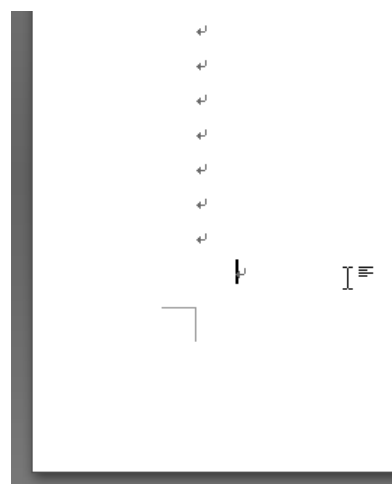
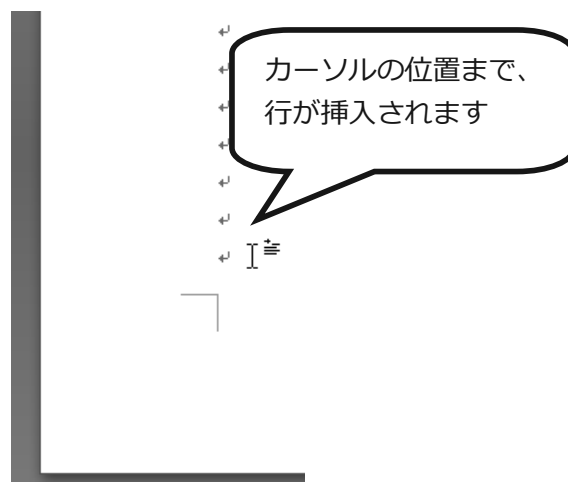


さらに、クリックアンドタイプで作業領域を作成しておきます。

まず、1 ページ目の最終行を表示し、カーソルを図のように移動させます。



この状態で、ダブルクリックします。



スペースキーを 1～2 個入れ、改行マークの位置を確定しておきます。

2. 寅

(1) 頭部を描く

描画ツール類は、リボンの「挿入」の中での「図形」に格納されています。



この「図形」のパレットの中には、「基本図形」をはじめとして、さまざまなツールが揃っています。

これらを組み合わせたり、または図形の「頂点」を編集することによって形を変更しながら、絵を描いていきます。

今回はこの中から、下記のツールを利用します。

基本図形

- ・円／楕円
- ・正方形／長方形
- ・曲線
- ・月

フローチャート

- ・論理積ゲート
- ・せん孔テープ

星とリボン

- ・大波

■ワンポイント■

クイックアクセスツールバーについて

Word のタイトルバーの左に、小さなアイコンが並んでいます。

ここは「クイックアクセスツールバー」と行って、よく使用するボタンを登録しておくことができます。

オートシェイプで絵を描く場合、ここに「図形」や「オブジェクトの選択」「グループ化」などのアイコンを登録しておくると便利です。登録するには、リボンの中の該当ボタンを右クリックし、「クイックアクセスツールバーに追加」をクリックするだけです。

また、このクイックアクセスツールバーは、リボンの下部に配置することも出来ます。



① 顔の部分を描く

「挿入→図形→円／楕円」の順にクリックして、マウスを矢印のようにドラッグすると、楕円が描けます。



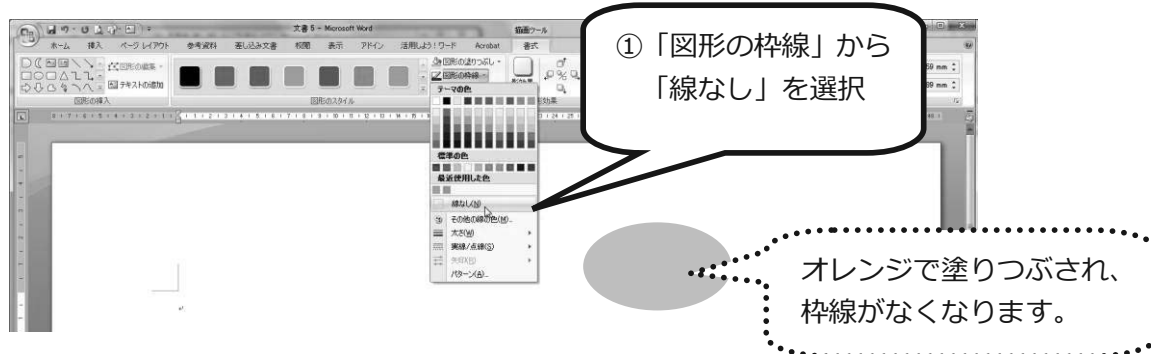
この楕円に色を塗ります。まず単色で塗ってみましょう。

楕円をクリックすると、「描画ツール」のタブが表示されます。

書式→図形の塗りつぶし→「標準の色」からオレンジを選択します。



次に、輪郭の線を消しておきましょう。



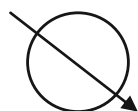
② 耳を描く

続いて同じように楕円で、耳を描きます。

楕円を選択しているときは「描画ツール」が表示されていますので、そのまま楕円を選択できます。



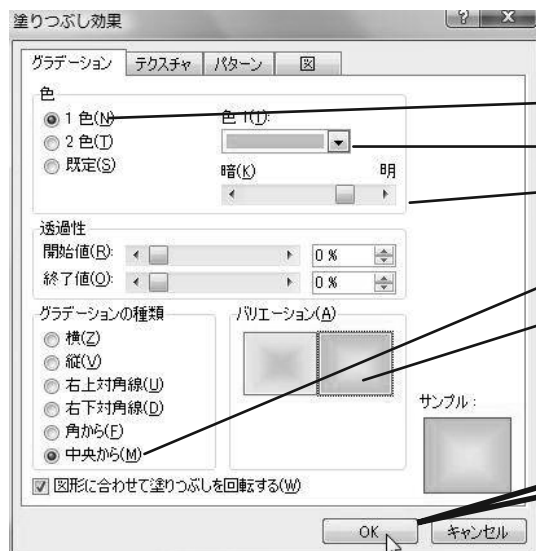
顔と同じように耳を描き、色を塗りますが、今回はグラデーションを使ってみます。



円をクリックして

書式→図形の塗りつぶし→グラデーション→その他のグラデーション の順にクリックします。





グラデーションのタブで

色 1 色

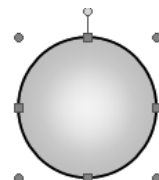
標準の色のオレンジ

明暗のバーを明るい方にドラッグ

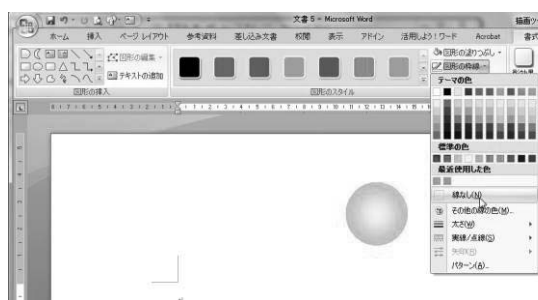
グラデーションの種類 「中央から」

バリエーション 右側

「OK」をクリック



線の色は、「線なし」にしておきます。



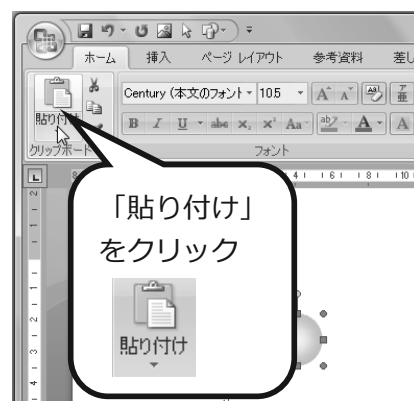
「書式」→
「図形の枠線」→
「線なし」

円を選択して、「ホーム→コピー」をクリック、すぐ、貼り付けボタンをクリックします。

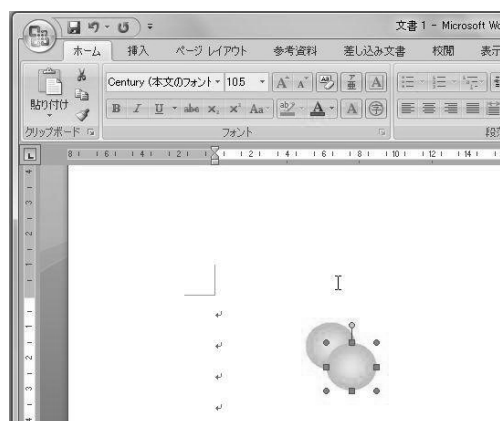


②「コピー」を
クリック

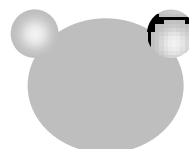
① 円をクリック



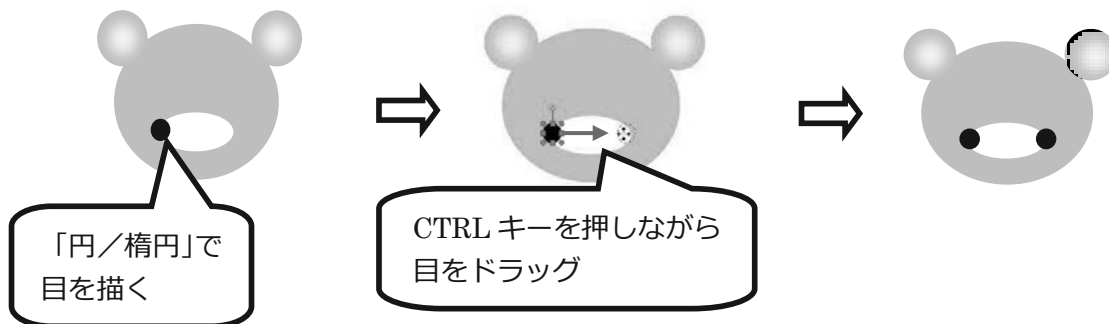
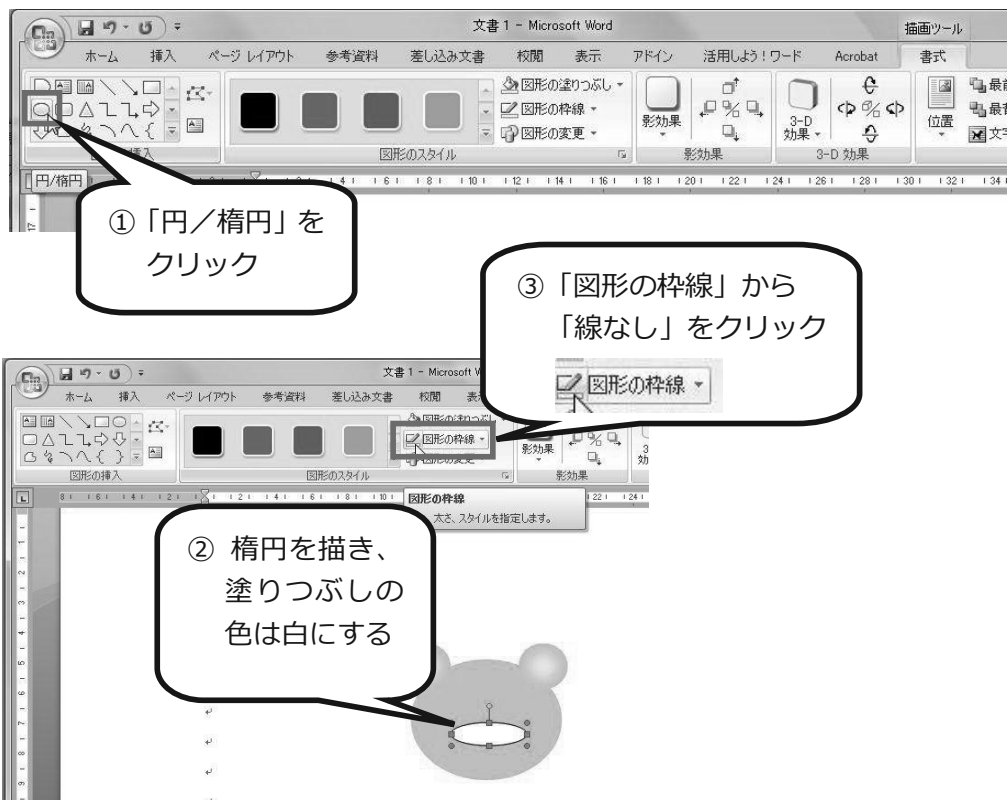
「貼り付け」
をクリック



耳を顔に配置します。

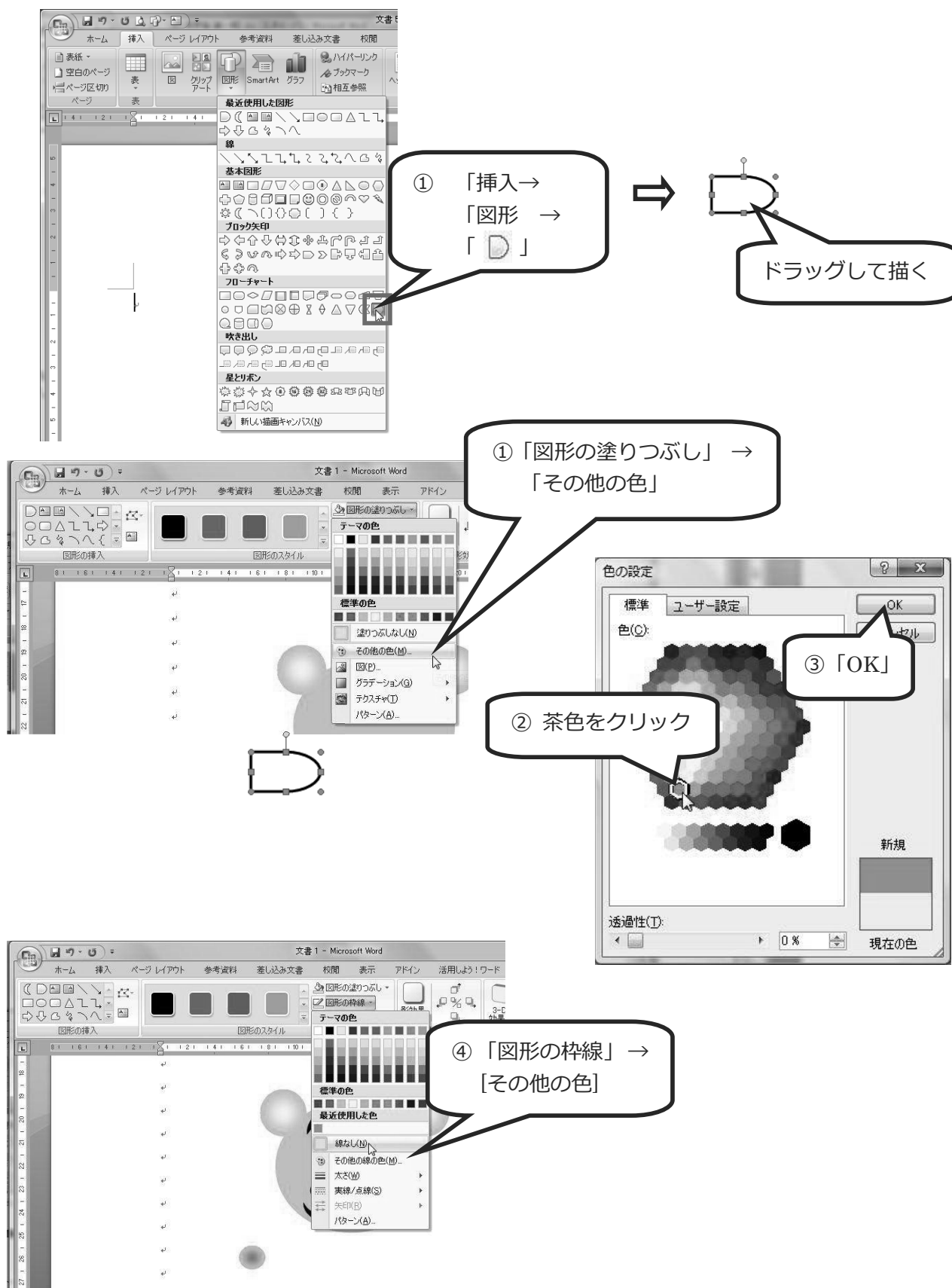


③ 目や鼻を描く。

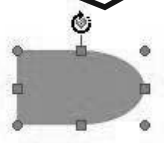


④ 鼻筋を描く。

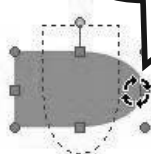
「図形→フローチャート→論理積ゲート」をクリック。
色を茶色、線なしに設定し、回転させます。



⑤ 回転のハンドルに、
カーソルを合わせて



⑥ 回転のハンドル
をドラッグ



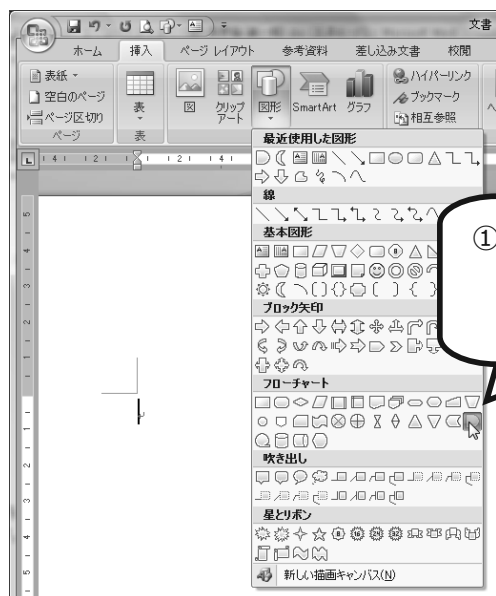
⑦ 顔の上に配置



⑤ 鼻先を描く。

同じように、図形→フローチャート→論理積ゲートをクリック。

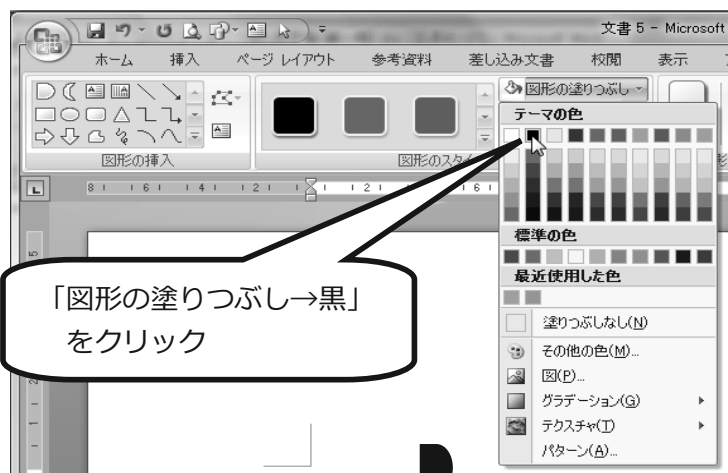
黒く塗りつぶし、回転させて鼻の位置に配置します。



① 「挿入」 →
「図形」 →
「」

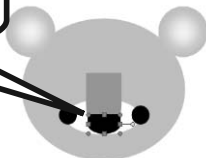


ドラッグして描く



「図形の塗りつぶし→黒」
をクリック

回転させて、鼻の位置に
配置します。



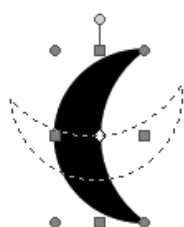
⑤ 「髭」を描く。

図形→基本図形→月 をクリック。黒で塗りつぶし、回転させ髭にします。

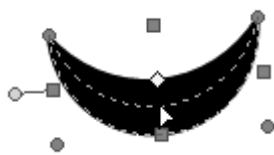


■ 詳しく説明 ■

今回は、塗りつぶしのボタン  図形の塗りつぶし ▾ の左の、 [塗りつぶし] をクリックしました。これは、前回、黒で塗りつぶしを実行したので、塗りつぶしの色がすでに黒に設定されているからです。バケツの下の色が目的の色に変化している場合は、こちらのボタンを使うと便利です。新たな色を指定したいときは、再び  図形の塗りつぶし ▾ の文字のほうをクリックして、色を指定します。



緑色の回転ハンドルで横向きに回転させます。



黄色い変形ハンドルで月を細く変形します。



髭の位置に、配置します。

髭を選択してコピーし、2 つにし、もう片方に配置します。



⑥ 縞模様を描く。

基本図形→月をクリックして、図のように作成します。

月を3つ、大きさを変え、真中は、基本図形の四角形を使っています。



ホーム→選択→オブジェクトの選択をクリックし、縞模様をドラッグして範囲指定します。



「ホーム→選択→オブジェクトの選択」をクリック



縞模様を囲むようにドラッグ

② 書式→グループ化→グループ化」の順にクリック



③ グループ化すると、ハンドルが8つになります。

① このように縞模様にはたくさんのハンドルが表示されます。

これを、頭に配置します。

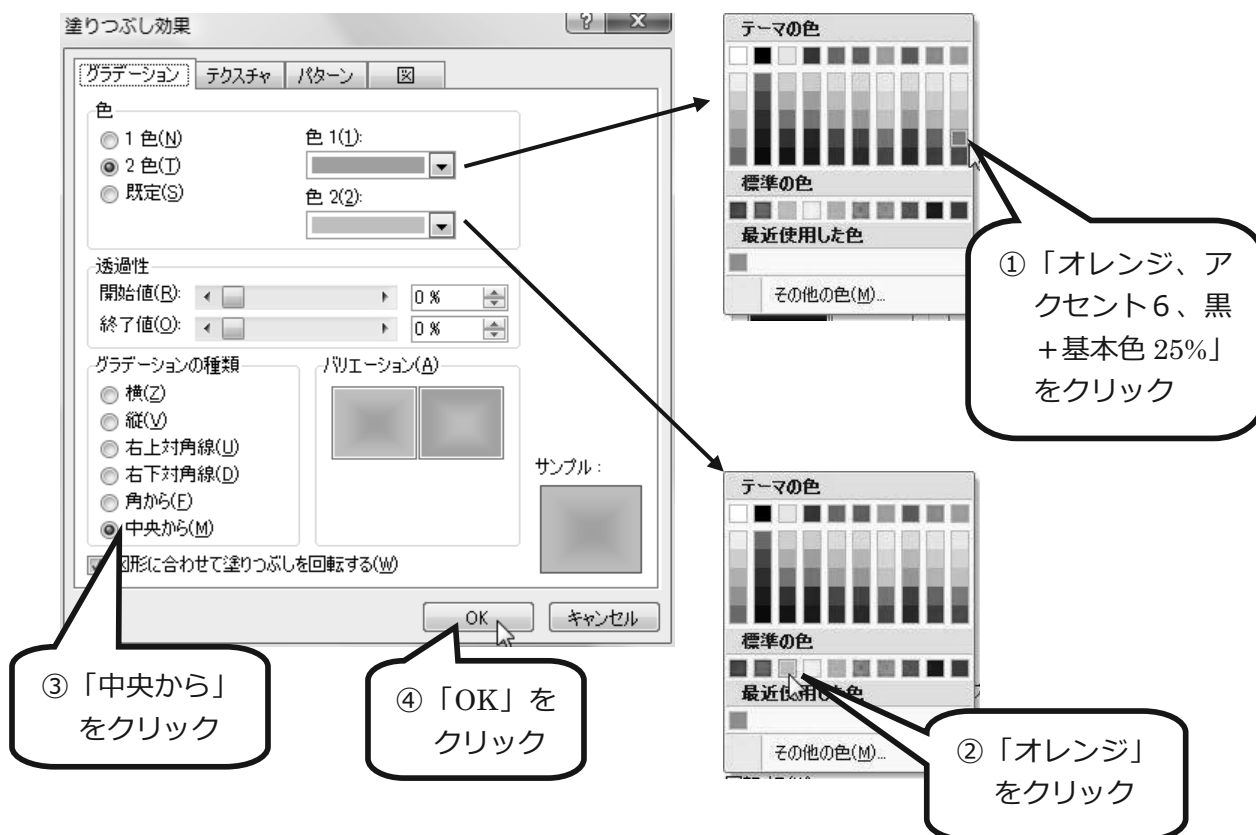
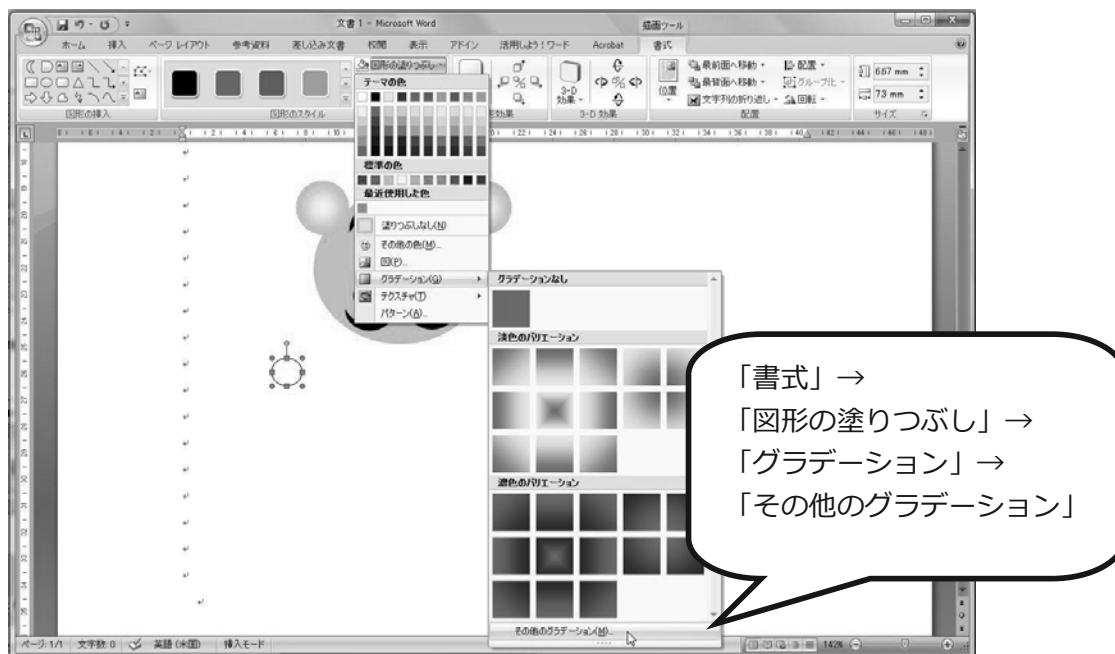
だいが、トラらしくなってきました。



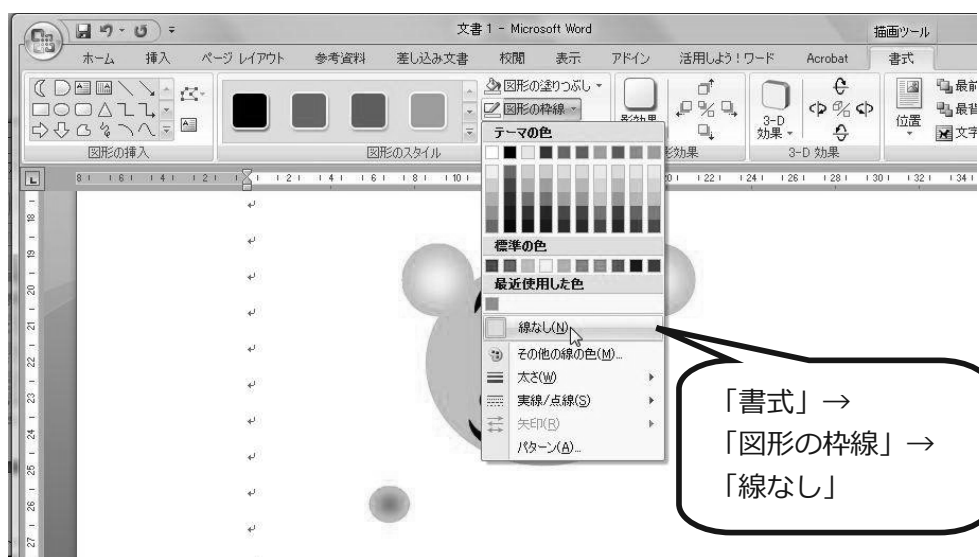
⑦ ほっぺの赤みを描く。

ほっぺをほんのり赤くしてみましょう。

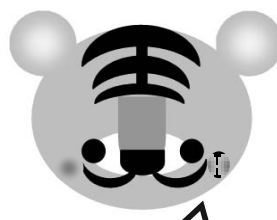
基本図形の楕円をクリックし円を描きます。



最後に、枠線をなしにして顔の色と同化させます。



ドラッグして、頬の
位置に配置します。

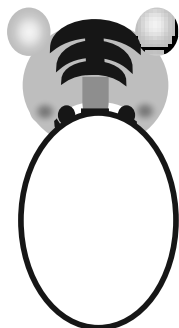


コピーして、両頬に
配置します。

(2) 胴体を描く

① 胴体

楕円を使って、胴体を描きます。

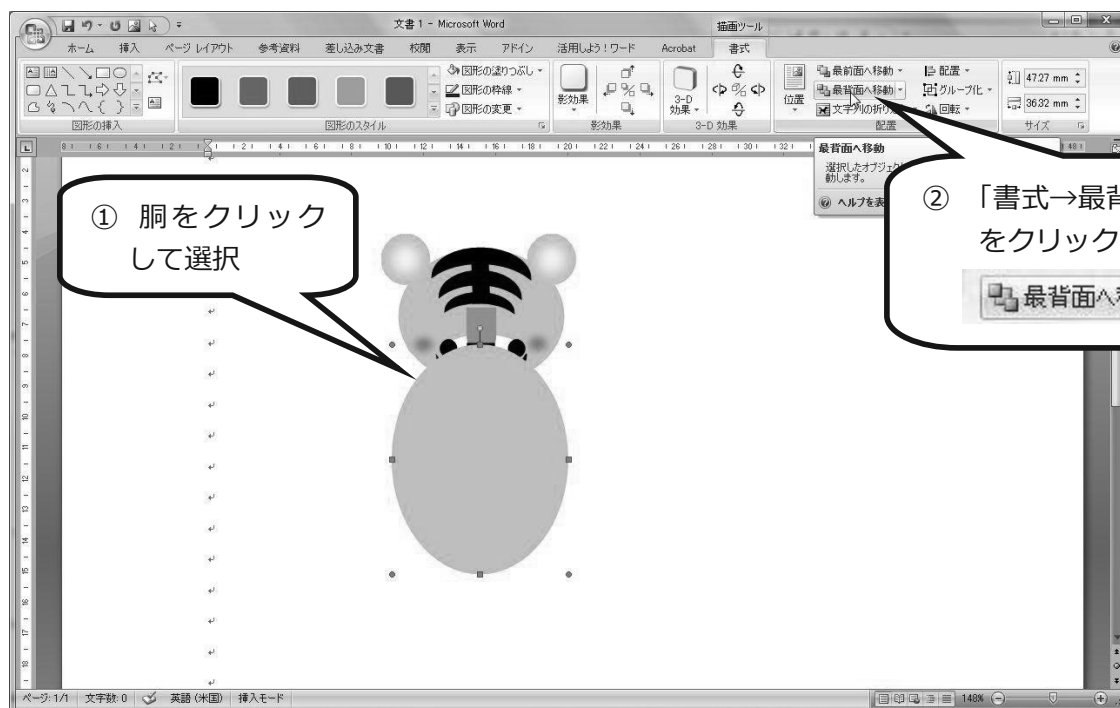


胴体に頭と同じ色を塗り、線なしにします。



上図のように、胴体が顔の上にきますので、胴体を頭の背面に持っていきます。

胴体を選択したまま、配置→「最背面へ移動」をクリックします。



このように、顔の後ろに胴体が配置されます。

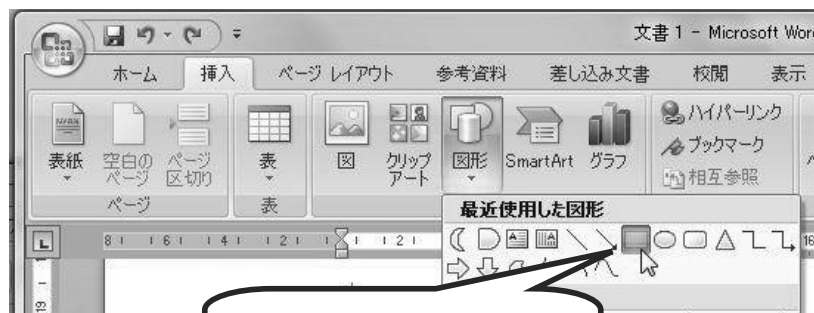
② 腕と足を描く。

腕は、基本図形の「正方形／長方形」と「楕円」を使い作成します。

これをコピーして2本にし、1本を左右反転します。

縞模様は、図形の「月」を黒く塗りつぶして作成します。

あるいは、すでに描いてある「ひげ」を再利用しても良いでしょう。



「挿入→図形→正方形／長方形」を選択



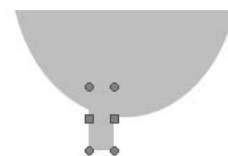
ドラッグして
描画



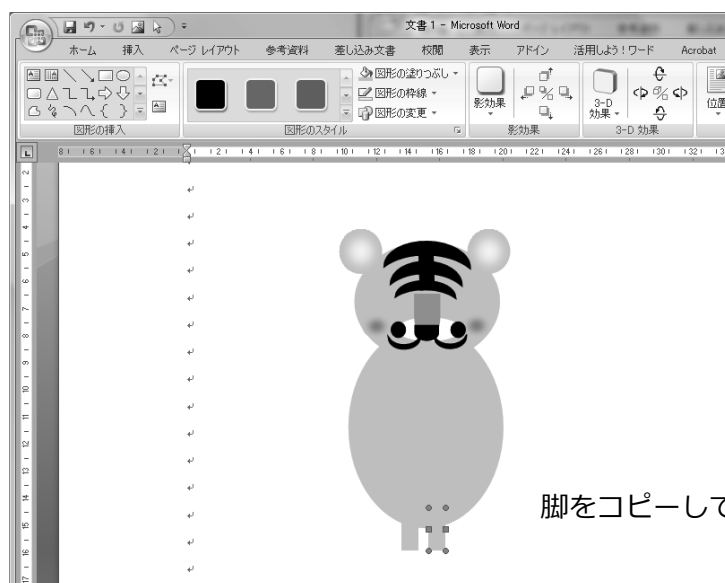
「図形の塗りつぶし→オレンジ」をクリック



「図形の枠線→線なし」をクリック



脚が出来上がります。



脚をコピーして、貼り付けます。

足は、楕円を使って描きましょう。

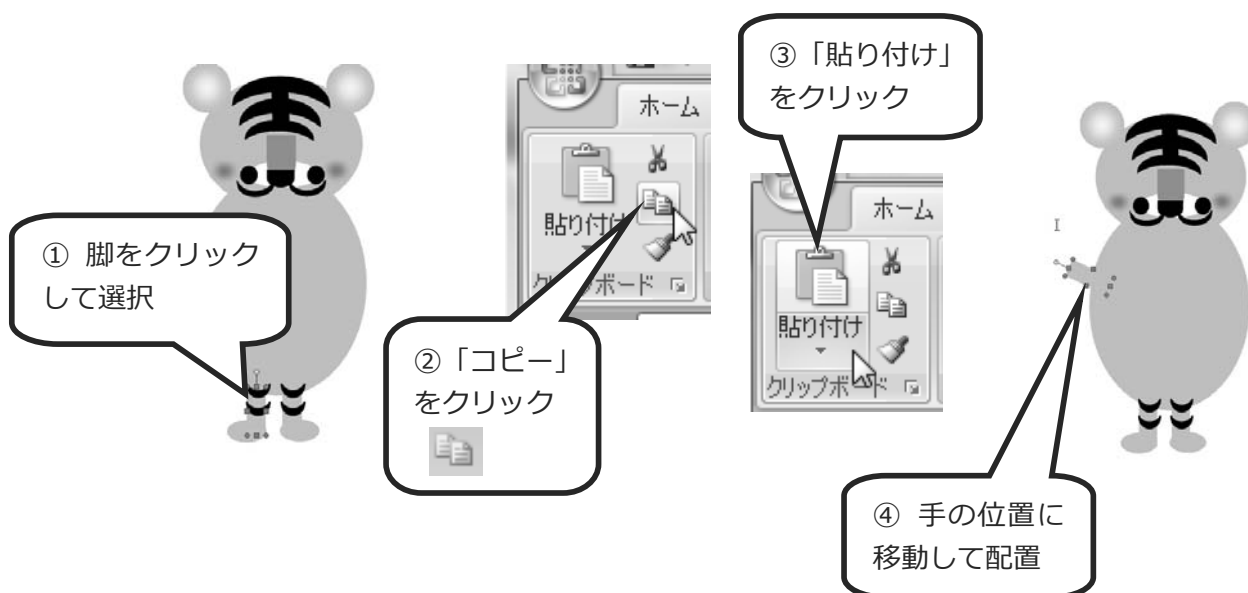


脚の縞模様も、基本図形の「月」を使って、ひげを描いた時の要領で描きます。

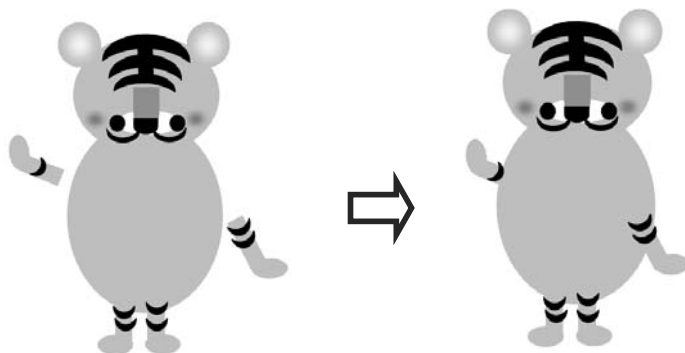


手は、脚を利用して描きます。

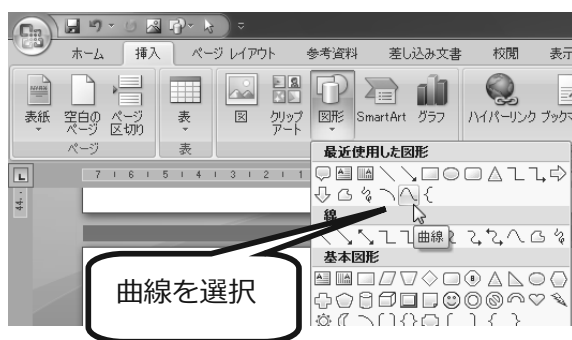
まず、脚の部分のコピーして、手の位置に貼り付け配置します。



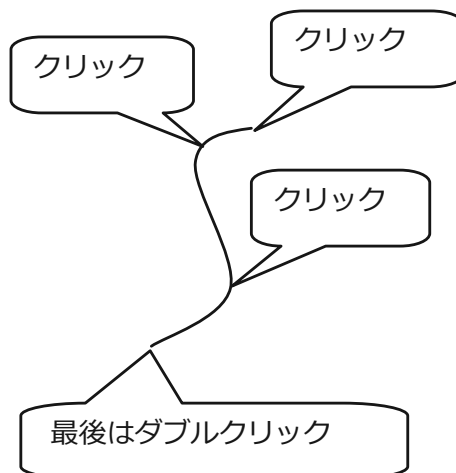
同様に、両手も作成し配置します。



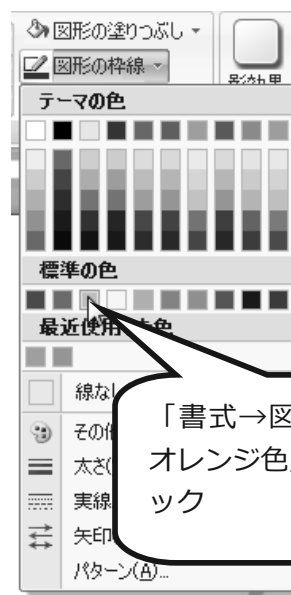
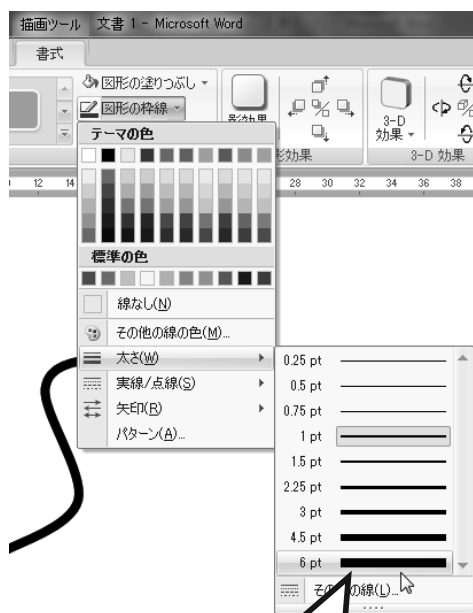
③ 尻尾を描く



尻尾は、曲線を利用して描きます。



尻尾の太さと色は、「描画ツール→書式→図形の枠線の太さと色」で指定します。



「書式→図形の枠線→太さ→6pt」の順にクリック

「書式→図形の枠線→オレンジ色」の順にクリック

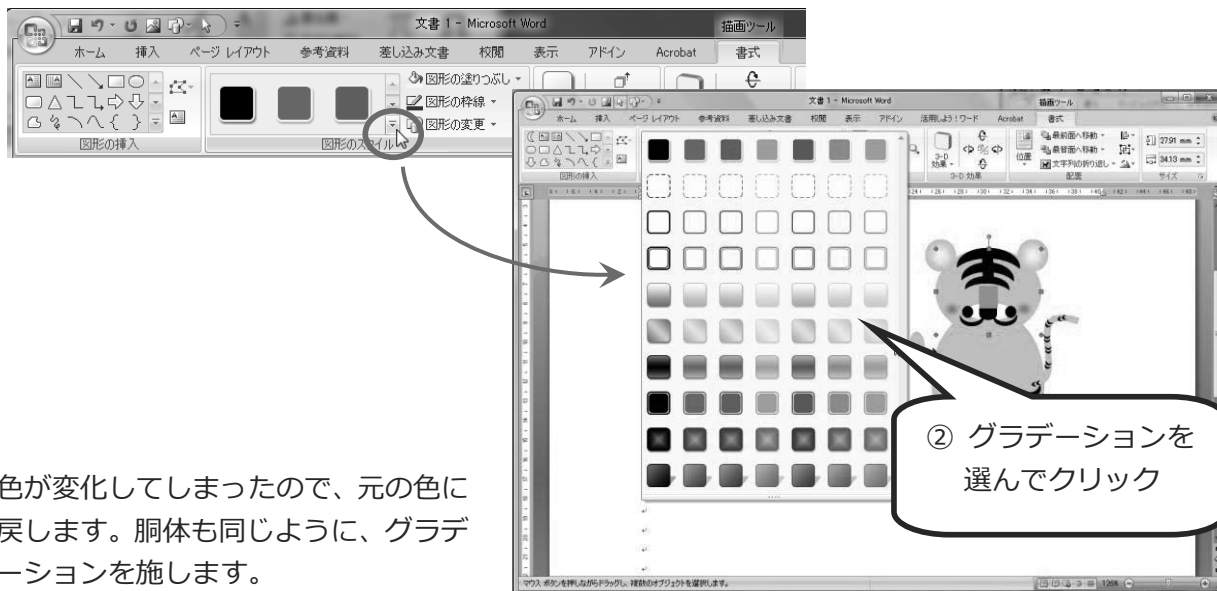
このような線を描いて、縞模様を入れます。

出来上がり！

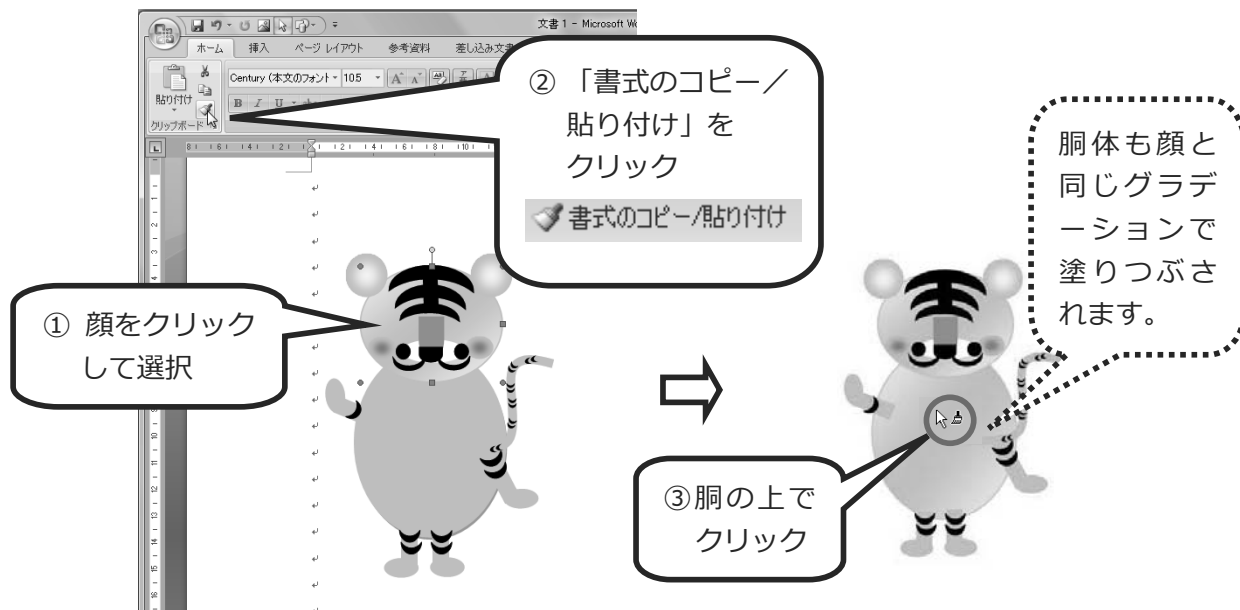
④ 顔と胴体にグラデーションをつける。

最後に、全体に立体的に見せるために顔と胴体にグラデーションをつけましょう。

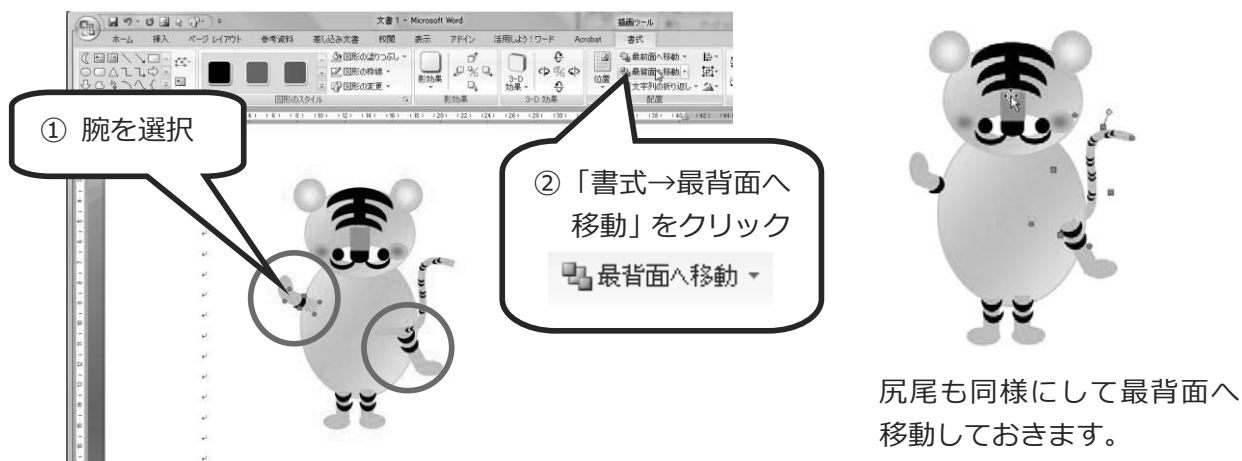
「描画ツール」→「書式」→「図形のスタイル」の中の図の位置をクリックすると、さまざまなグラデーションの見本が並んでいます。その中から図の位置のものをクリックします。



顔の書式をコピーして、胴体も同じようなグラデーションにします。

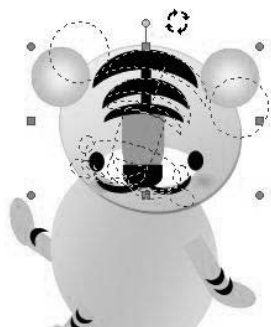


よく見ると、手やしっぽの配置が、胴体の前に来ていて自然ではありません。
手や足を選択して、胴体の後ろに配置し直します。



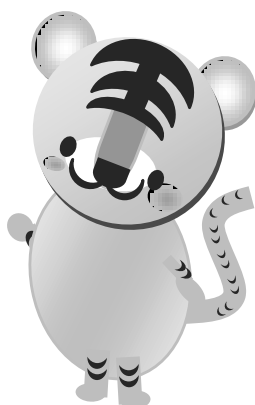
首をかしげさせると、表情が出て可愛さを表現できます。
このとき、頭をグループ化しておくと作業がしやすくなります。



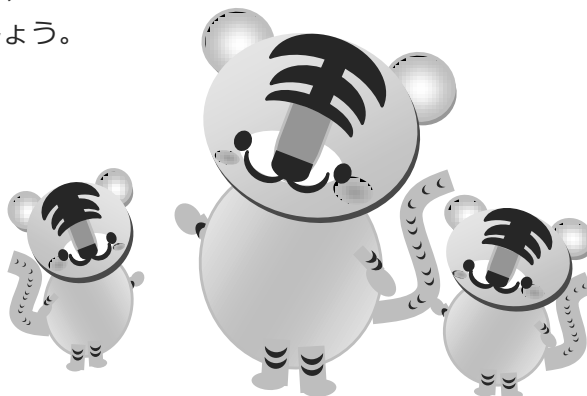


顔全体を回転させて、首を傾げさせ表情を出します。

耳の重なり、目の大きさ、顔の角度などを調整して、仕上げます。



ひとつ描いたら、コピーも自由にできます。
このように、コピーしたものを縮小したり、
表情を変えたりして絵に仕上げていきましょう。



テーマ2 （初級～中級編）

②ワードの図形作成機能

「チューリップのバースデーカード」

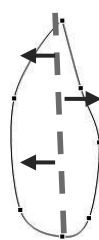
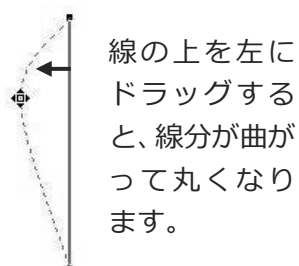
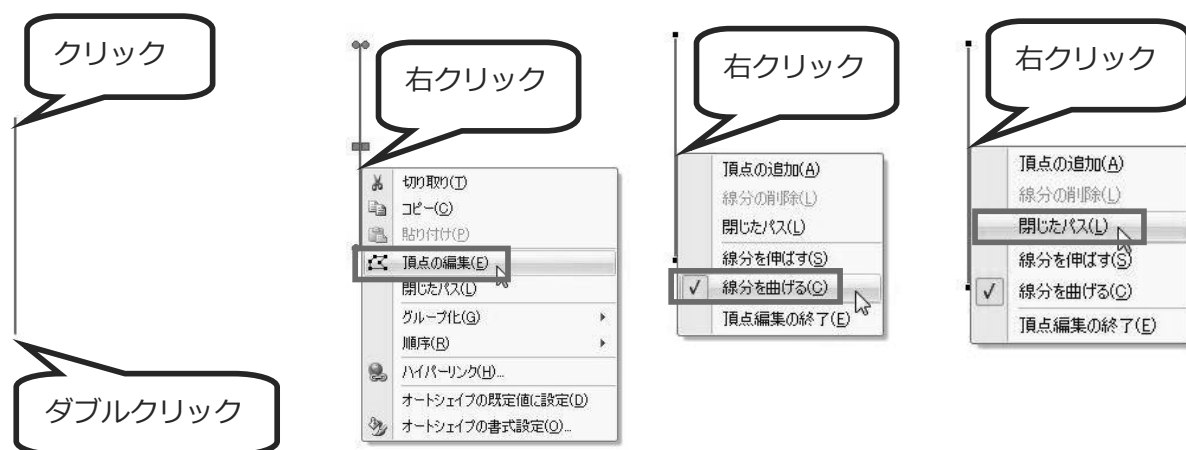
3. チューリップのバースデーカード

(1) チューリップ・花

チューリップの花は、曲線を使って描き始めます。



直線を引き、右クリックし、メニューから「頂点の編集」「線分を曲げる」「閉じたパス」で花弁を作ります。

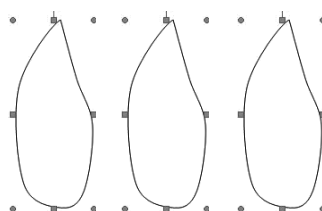


最終的にこのような、花弁の形にします。

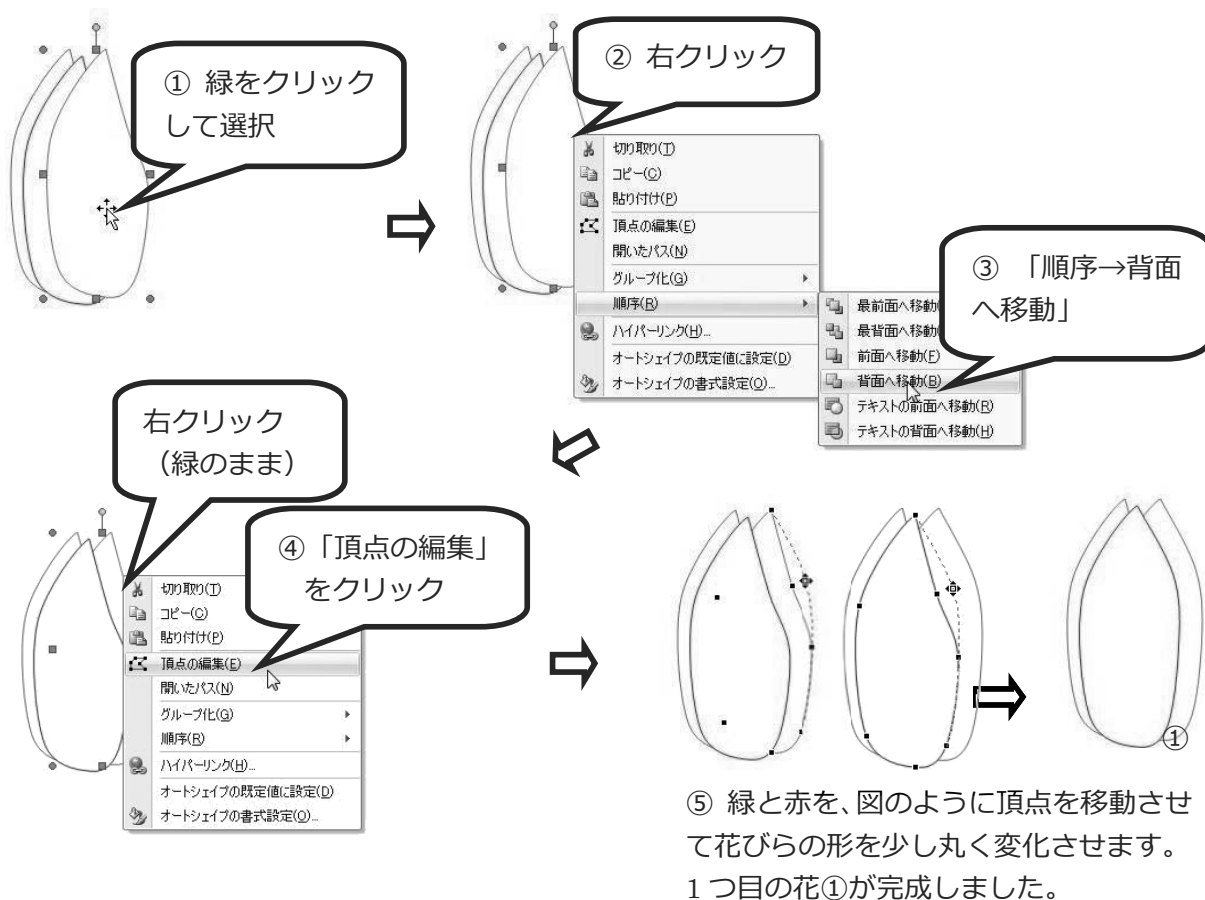


この花弁を選択して、書式→図形の塗りつぶしを選択、白に塗りつぶします。

さらに、コピーして、3枚にします。

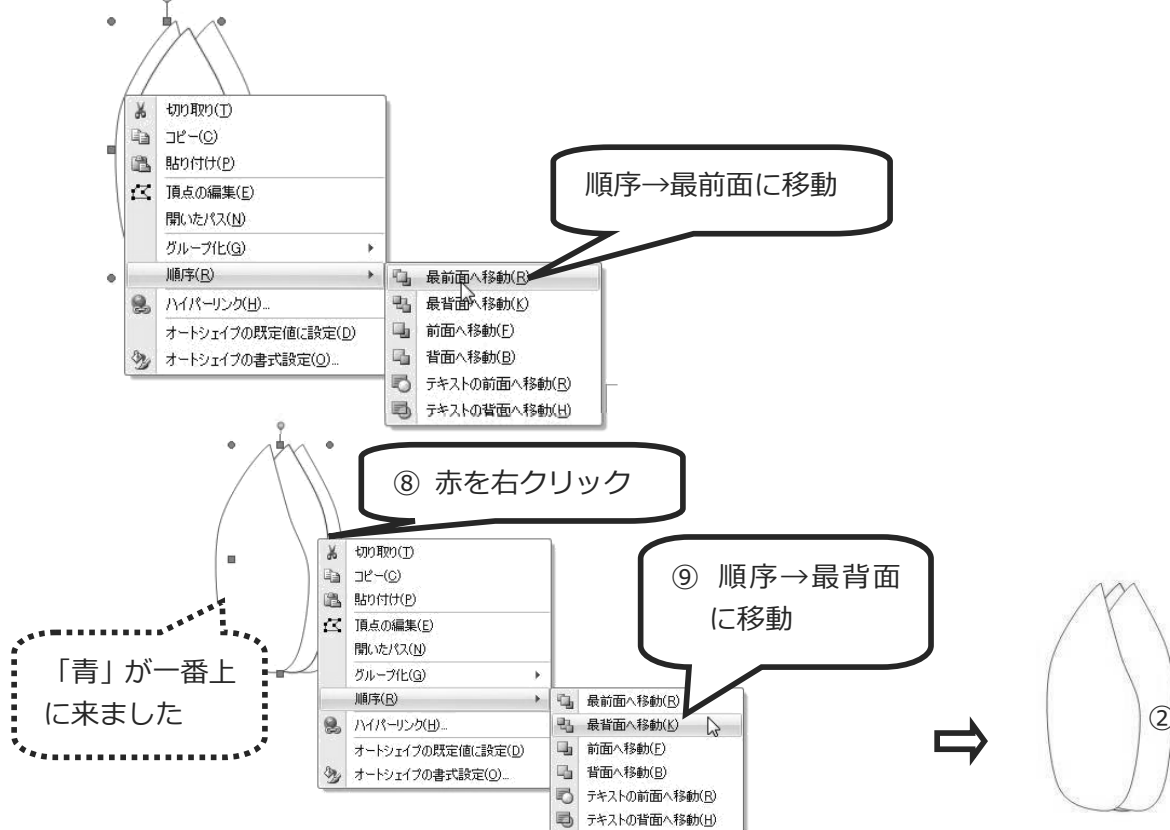


(ここでは、わかりやすくするために花卉の線をそれぞれ色を変えて説明しています)



2つ目の花を作るため、①をコピーして2つに増やしておきます。

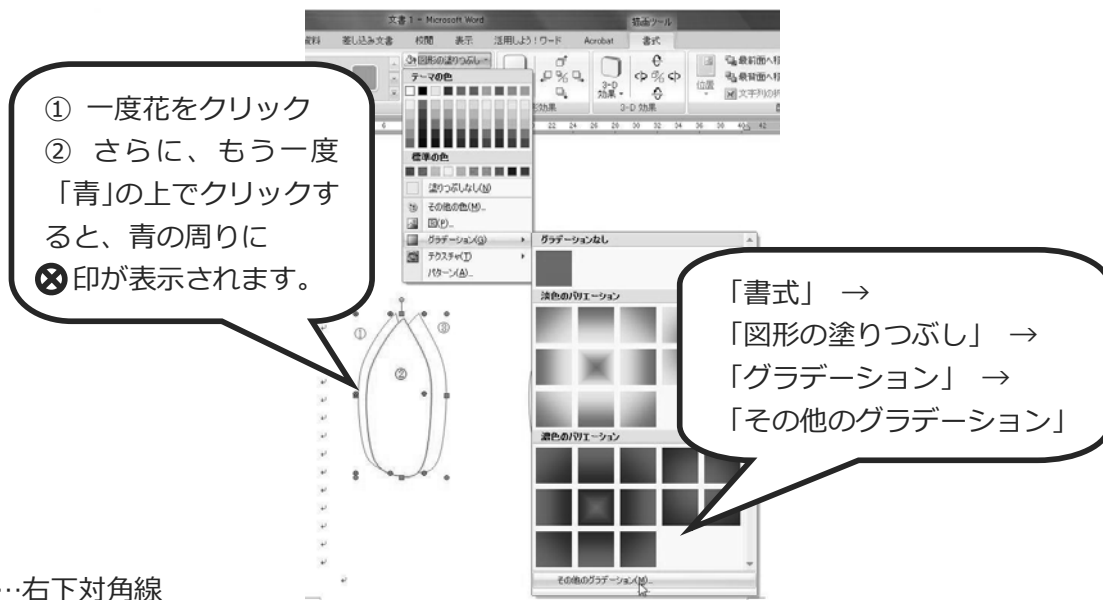
片方の、青の花弁をクリックして、最前面に配置します。



①と②の二つの花が完成しました。

まず、①の花に色をつけます。

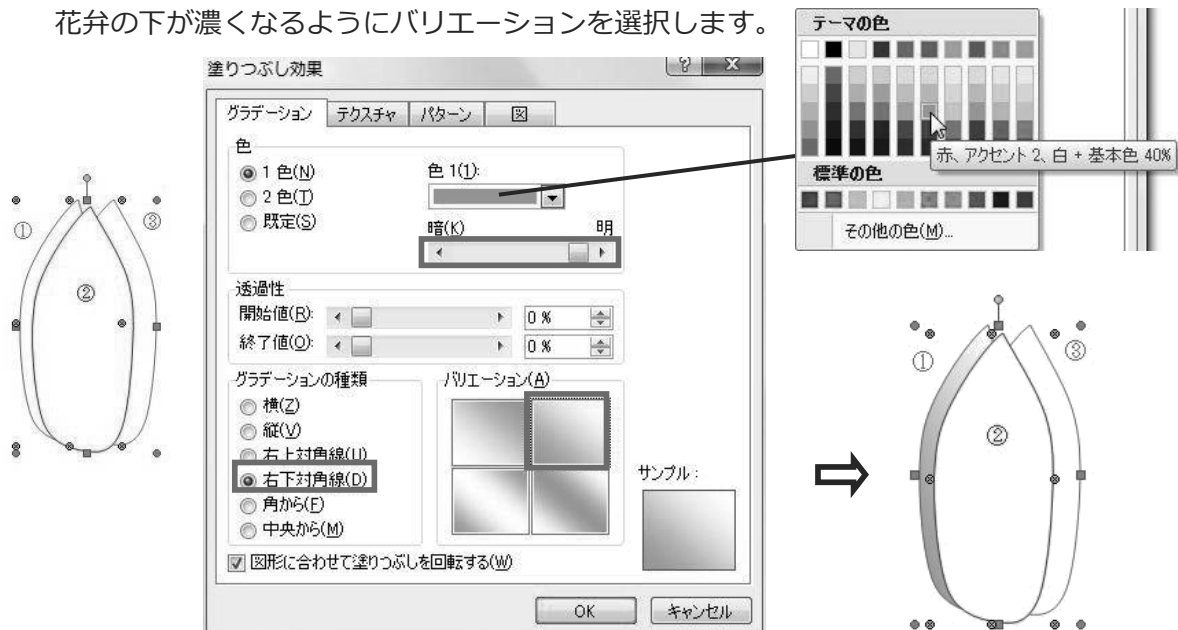
まず、3 枚の花弁がばらばらにならないように、グループ化しておきます。



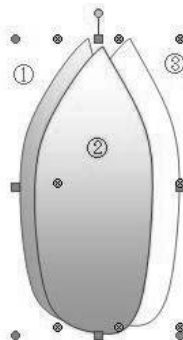
①の花弁…右下対角線

花の色はすべて同色、明るさを一番明るく設定し

花弁の下が濃くなるようにバリエーションを選択します。



②の花弁…横



③の花弁…右上対角線



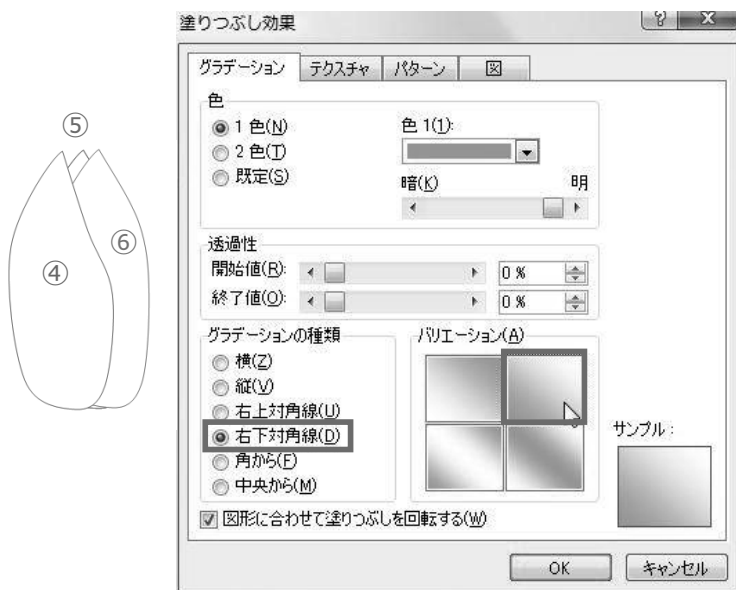
さらに、線の色をすべて「白、背景、黒+基本色 2 5 %」に設定します。



同じように、もう一つの花も着色します。

④の花弁…右下対角線

⑤の花弁…単色の塗りつぶし

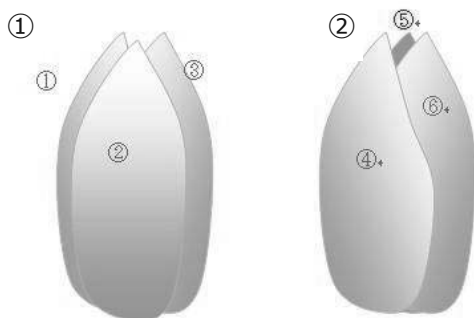


⑥の花弁…右上対角線

さらに、線の色を「25%灰色」にします。

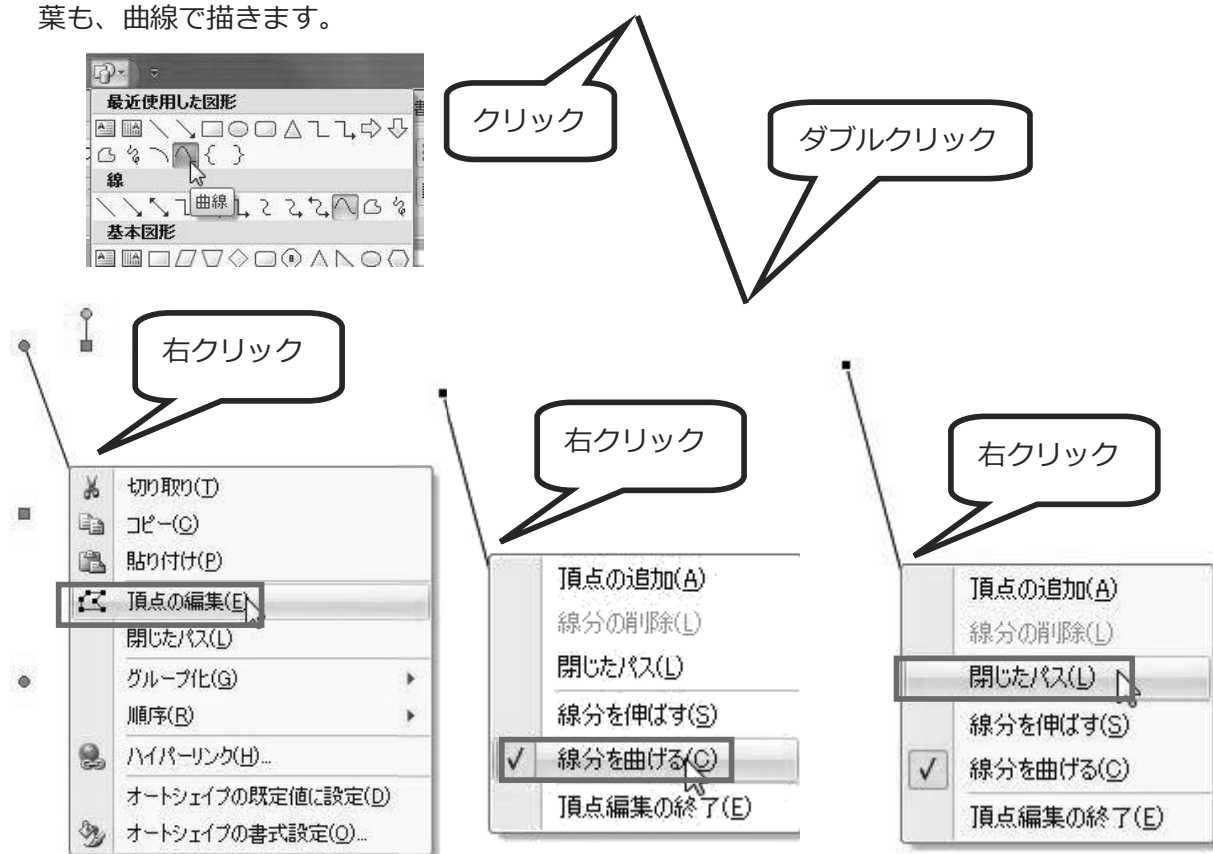


このように色がつきます。



(2) チューリップ・葉と茎

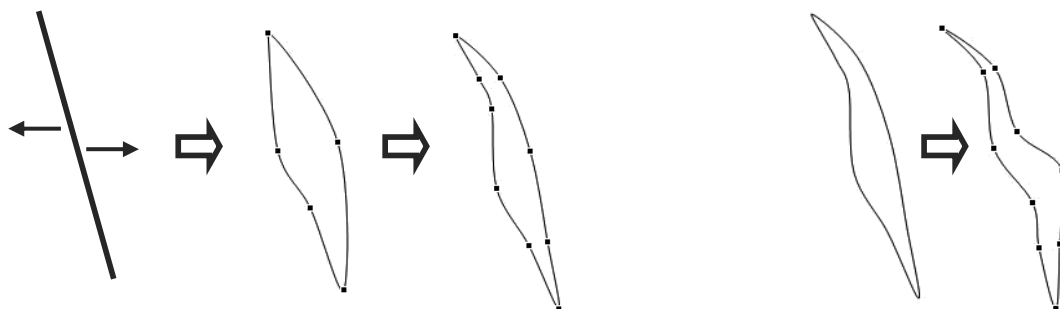
葉も、曲線で描きます。



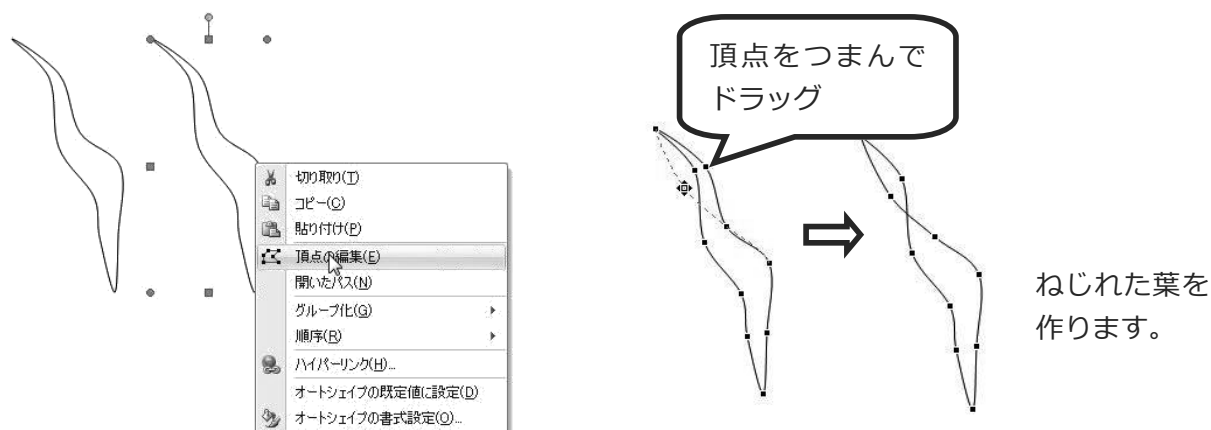
葉のパターン 1

頂点をドラッグしながら、葉の形を整えます。

パターン 1 をコピーして 2 つにし、そのうち 1 つから、葉のパターン 2 を作成します。



さらに、パターン 2 をコピーして 2 つにし、そのうち一つを頂点の編集で頂点を表示させます。



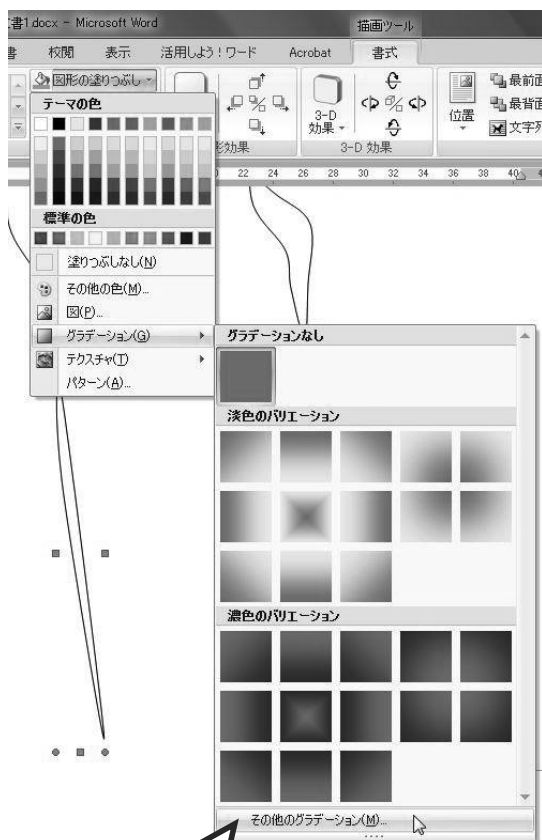
3 種類の葉が完成しました。



茎も、曲線で作成します。



茎に色を塗ります。



「書式→図形の塗りつぶし」→
「グラデーション」→
「その他のグラデーション」

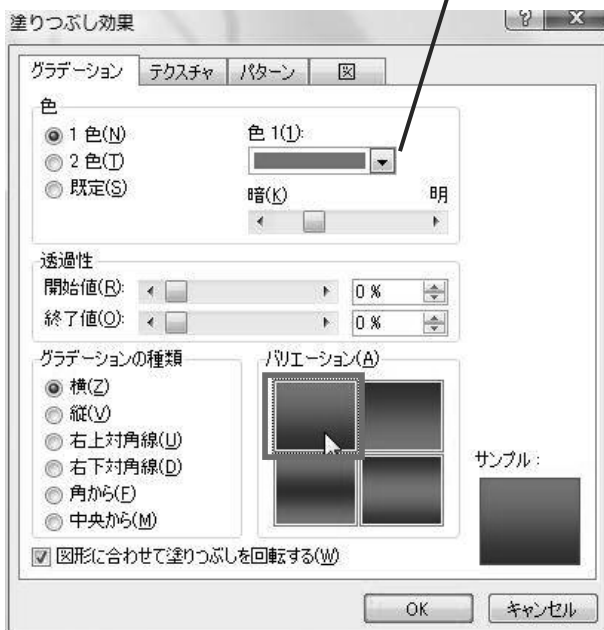
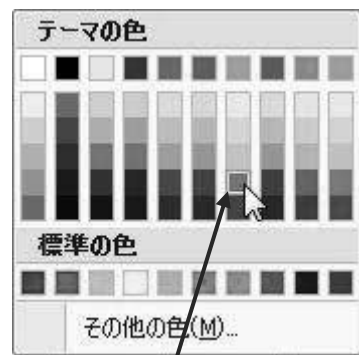
①クリック



③ダブルクリック

茎の形を描きます。

②クリック



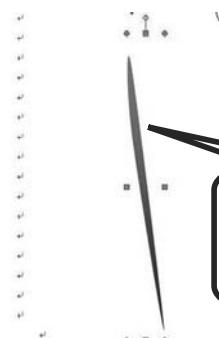
「線の色」を「線なし」にします。

茎の塗りの書式を、葉にコピーします。

茎をクリックして選択し…



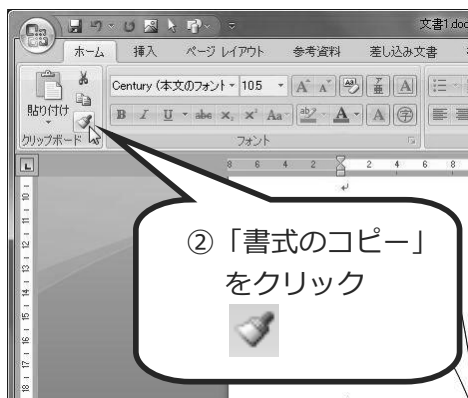
「書式」→
「図形の枠線」→
「線なし」



① 茎をクリック
して選択

「書式のコピー」 をクリックして、葉の上にカーソルを持っていくと、カーソルの右側に刷毛が表示されますのでそのまま葉の上でクリックします。

葉が、茎と同じ塗りつぶし効果で、塗りつぶされます。



② 「書式のコピー」
をクリック



③ 葉の上で
クリック

③ 葉が茎と同じ色で塗りつぶされます。

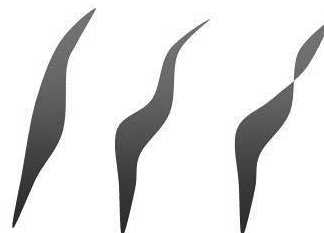
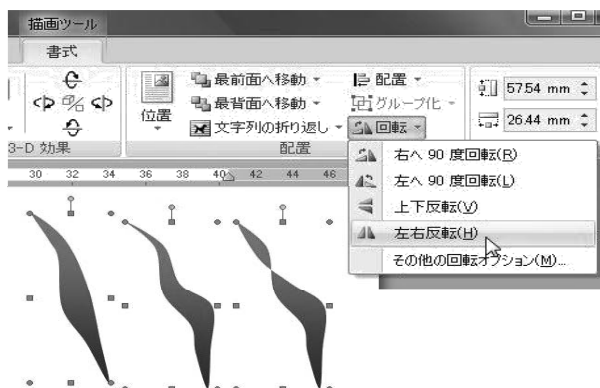
■ワンポイント■

3枚に同じ色を塗るときは、「書式のコピー」をダブルクリックすると、繰り返しコピーできます。

3枚の葉すべて、書式のコピーで同じ色に塗りつぶします。

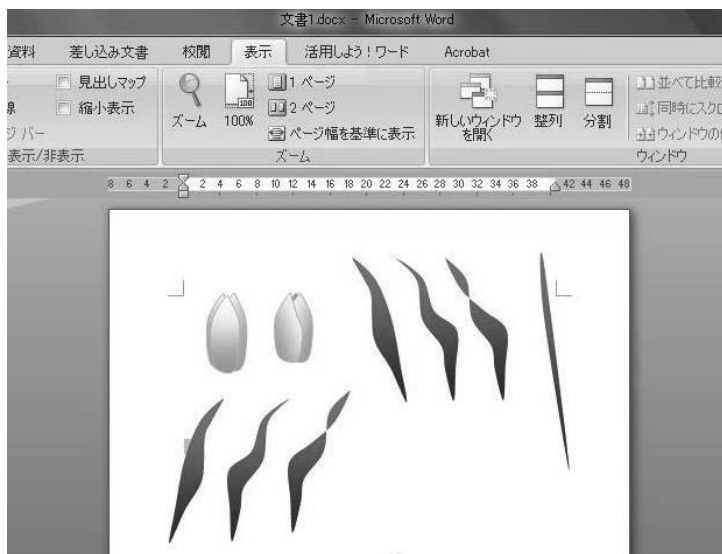
左右反転の葉も作っておきましょう。

葉を3枚ともすべて選択し、「書式→左右反転」を選択します。



(3) チューリップ・花束

これですべての素材がそろいました。



花は茎をつけてグループ化しておきます。



花と茎をグループ化したものを 7~8 本作成して、花束にします。

1 本一本に、少しずつ回転させたり小さくしたり変化をつけて表情を出します。



このようにして、
花束を作ります。



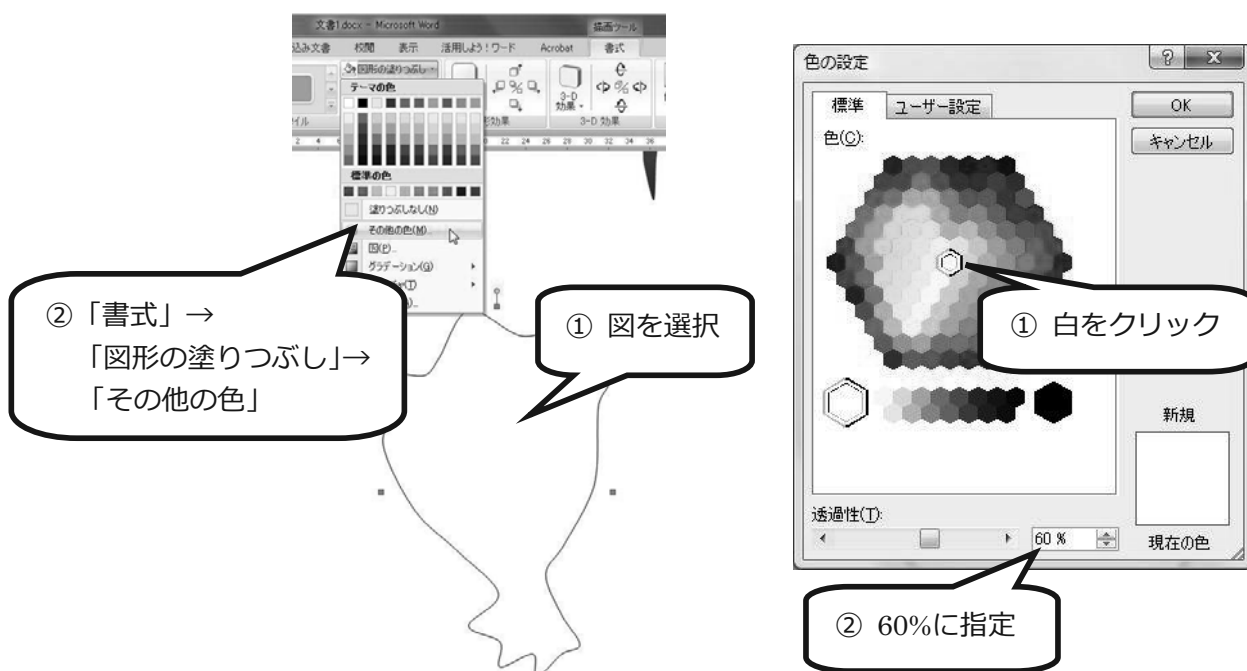
曲線で、花束を囲むように描きます。



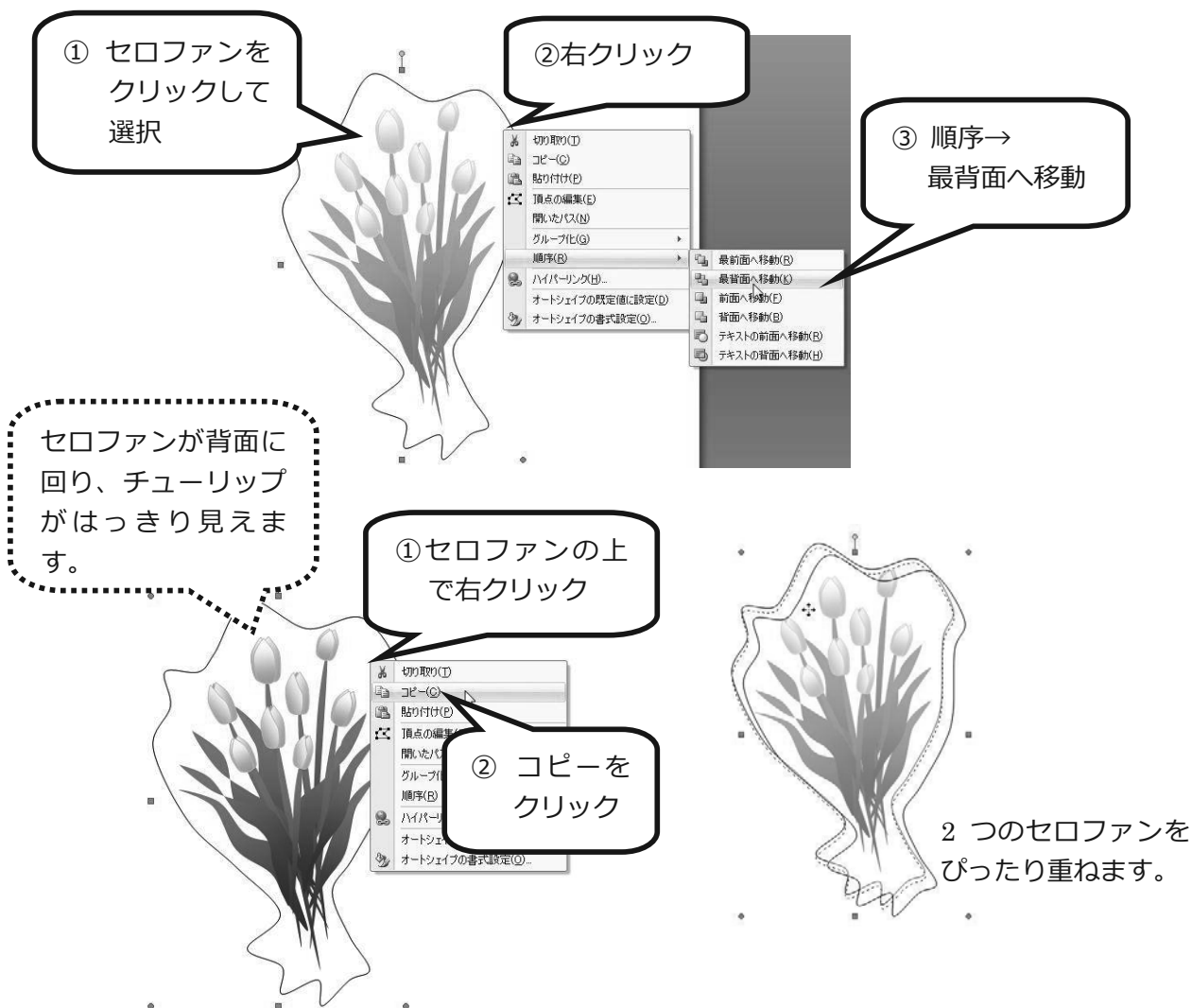
「図形」→
「曲線」



描いたセロファンに薄く色をつけます。



「線の色」は「25%灰色」に設定し、さらにセロファンを最背面に配置します。



チューリップより手前に来るセロファンを変形します。



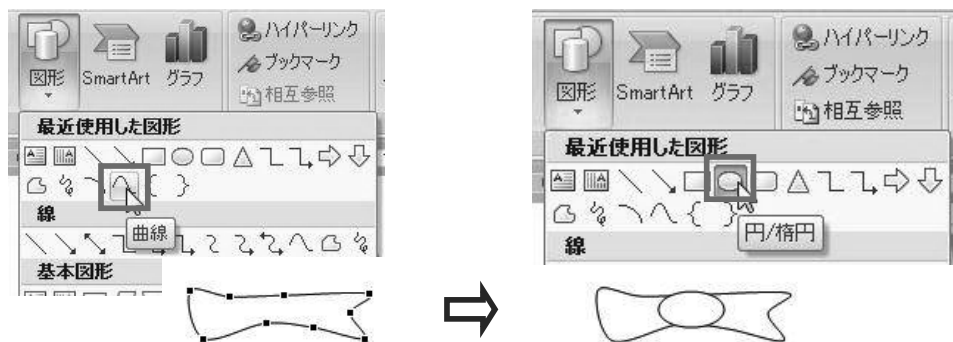
セロファンの線の色を、「白、背景 1、黒+基本色 25%」に設定します。



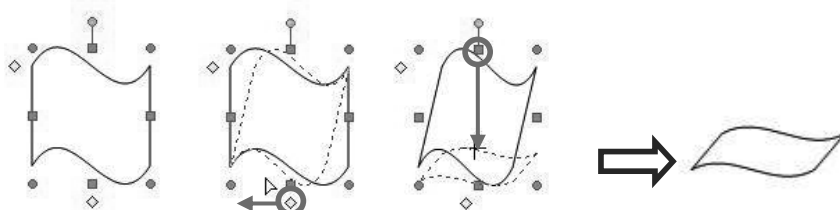
最後に、選択ツールで花束全体を範囲指定して、グループ化しておきます。



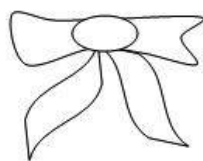
花束にリボンをあしらいます。 リボンは、曲線で形作ります。



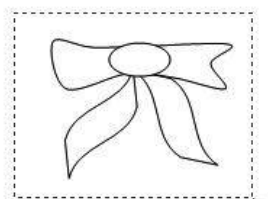
「星とリボンの「大波」を変形してリボンの下の部分を2つ、作ります。



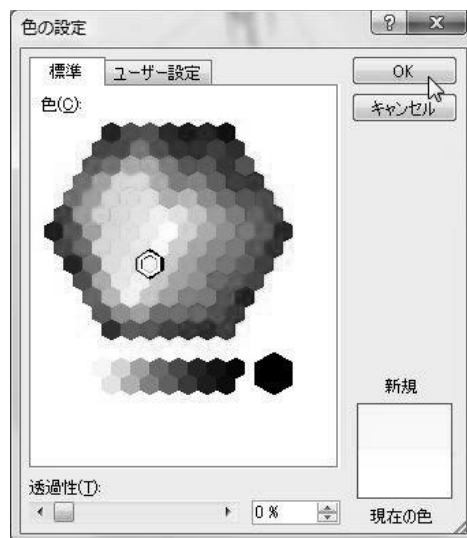
回転させて、リボンの下に組み合わせます。



リボンの色を「薄い黄色」に変更します。



リボンを範囲指定して選択し...

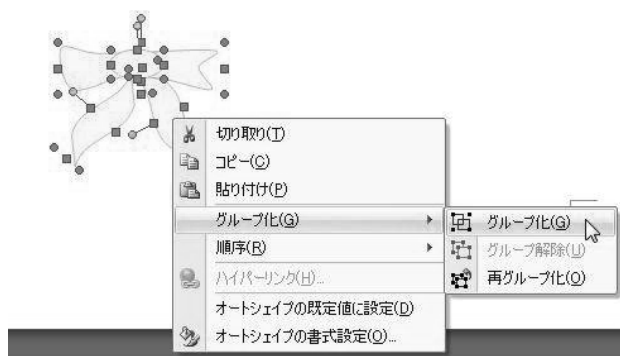


薄い黄色を指定します。

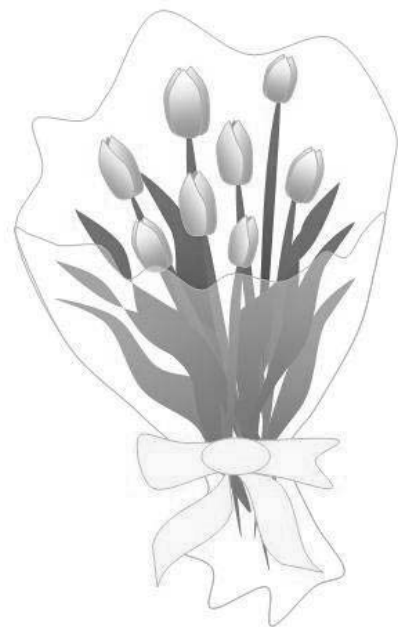
さらに、線の色も「オレンジ」に変更します。



塗りと線の色を変更したら、リボンをグループ化しておきます。

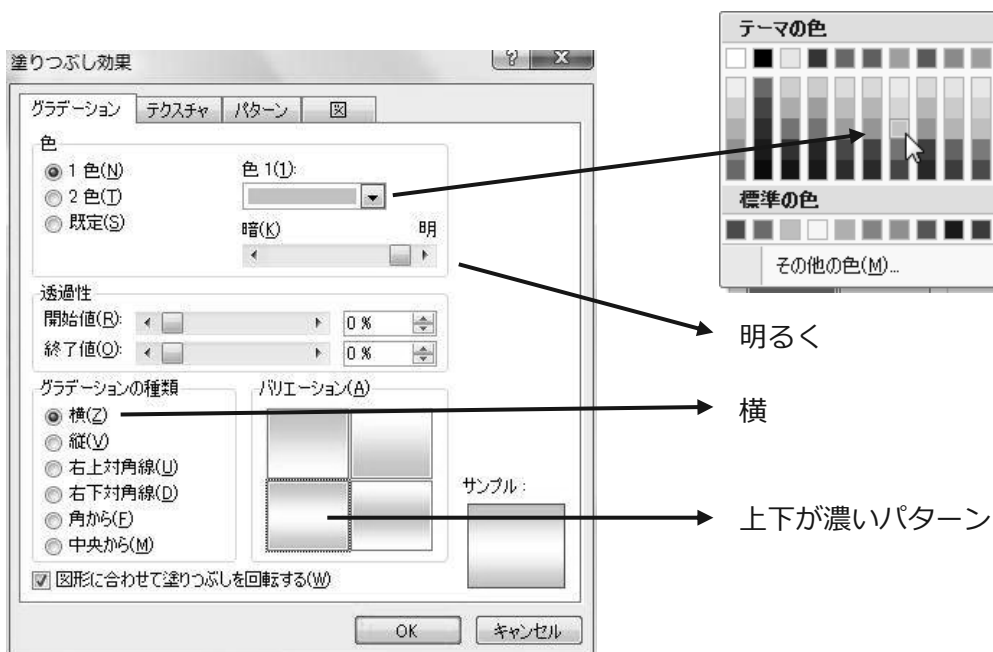
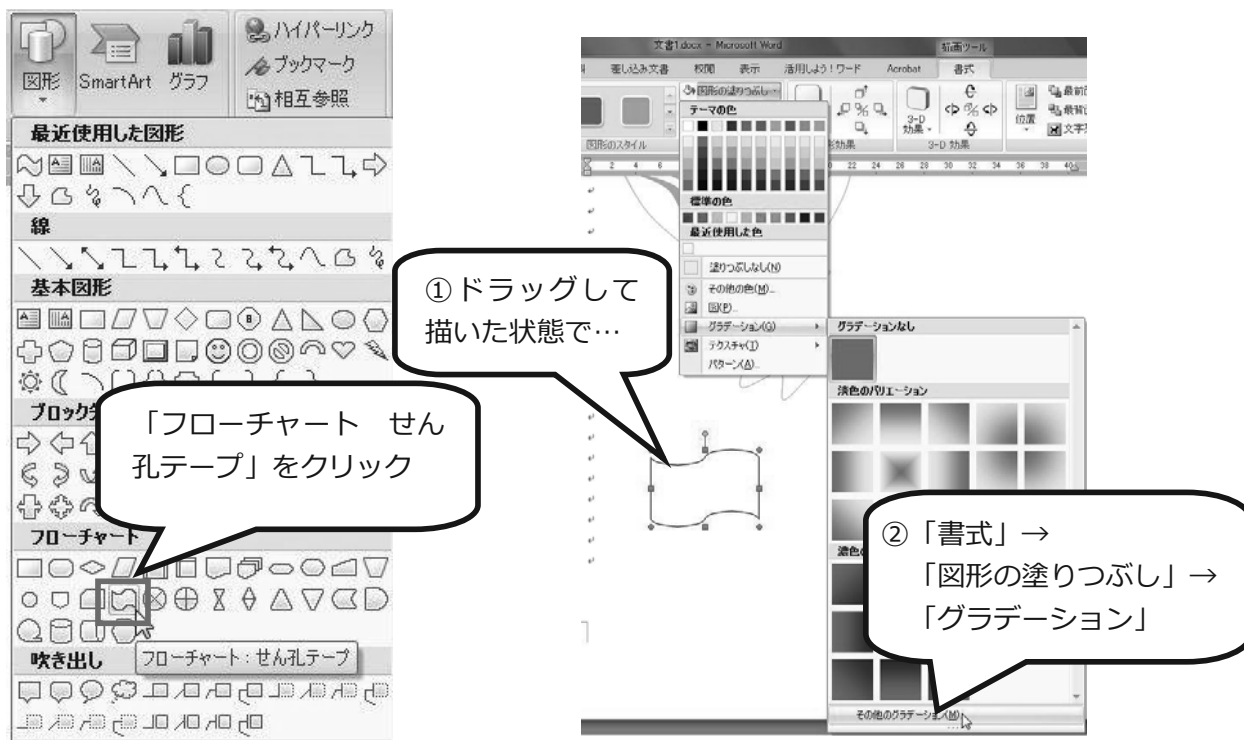


このリボンを、花束の上に配置して「チューリップの花束」が完成です。



(4) バースデーカード

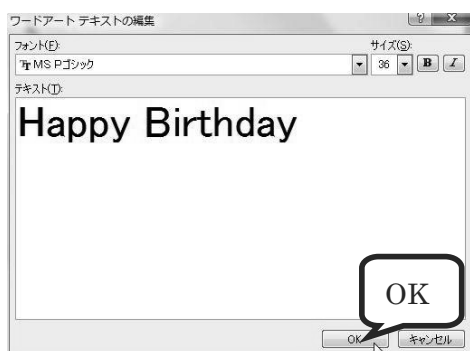
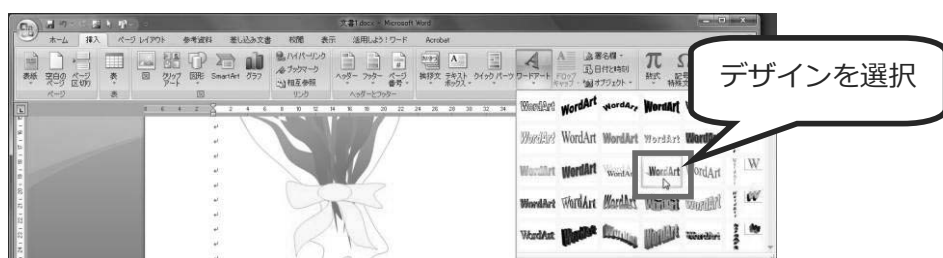
最後に、バースデーカードに仕上げます



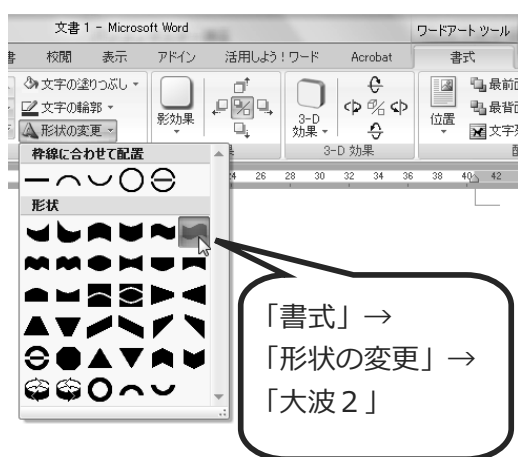
さらに、線の色も、塗りと同じように、薄い緑に設定します。



挿入→ワードアートで、デザインを選択し、文字を入力します。



さらに、ワードアートの形状を「大波2」に変更します。



このようにオリジナルのワードアートの、影がなくなり、形状が変化しました。

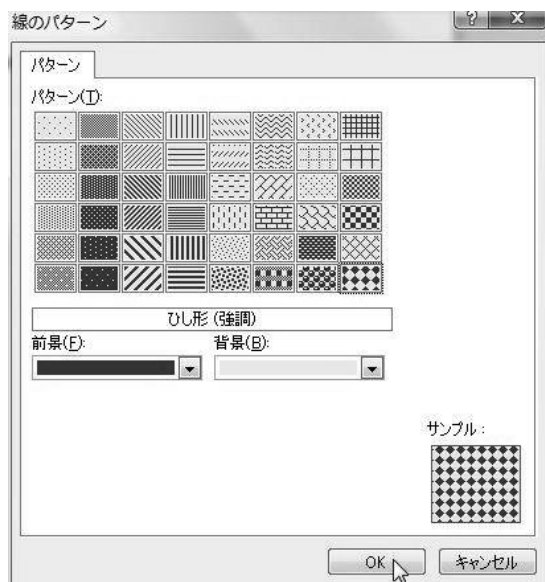
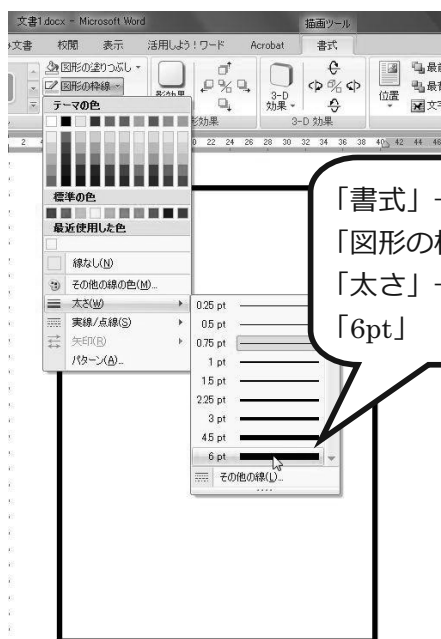
先に作成した「せん孔テープ」の上にワードアートの文字を載せてグループ化します。



バースデーカードの周りの線を描きます。



「図形→正方形／長方形」を選択します。



前景…インディゴ
背景…ベージュまたはそれに近い色
パターン…ひし形



チューリップの花束のバースデーカード完成です。

テーマ2 （初級～中級編）

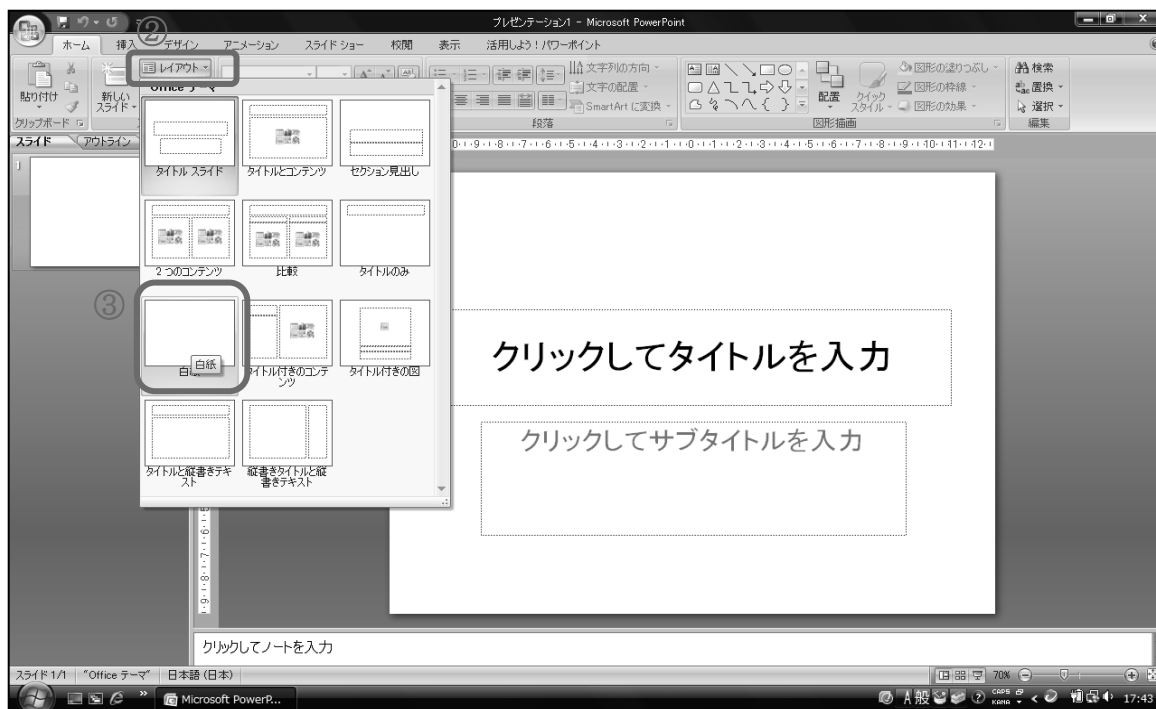
③パワーポイントを使って 「アニメーションスライド」

アニメーションスライド作成手順書

(PowerPoint 2007)

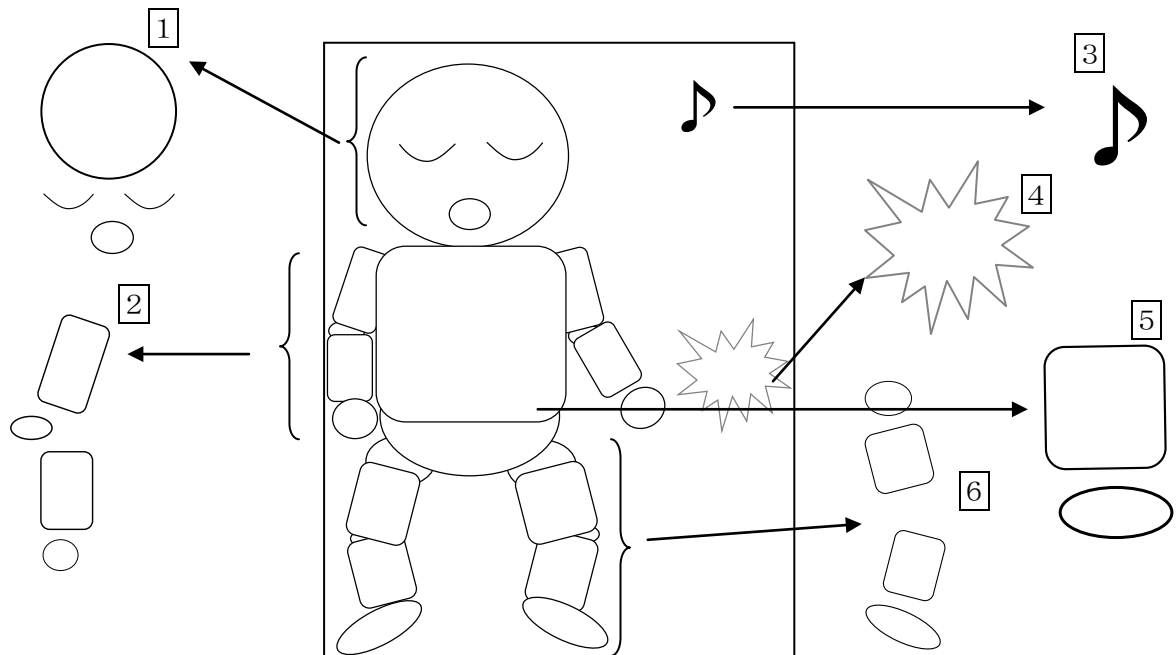
1 スライドのレイアウトを変更する

- ① PowerPoint 2007 を起動します。
- ② 起動されたスライドのレイアウトを変更するため、[ホーム] タブの [レイアウト] をクリックします。
- ③ [白紙] をクリックします。



2 アニメパーツの構成

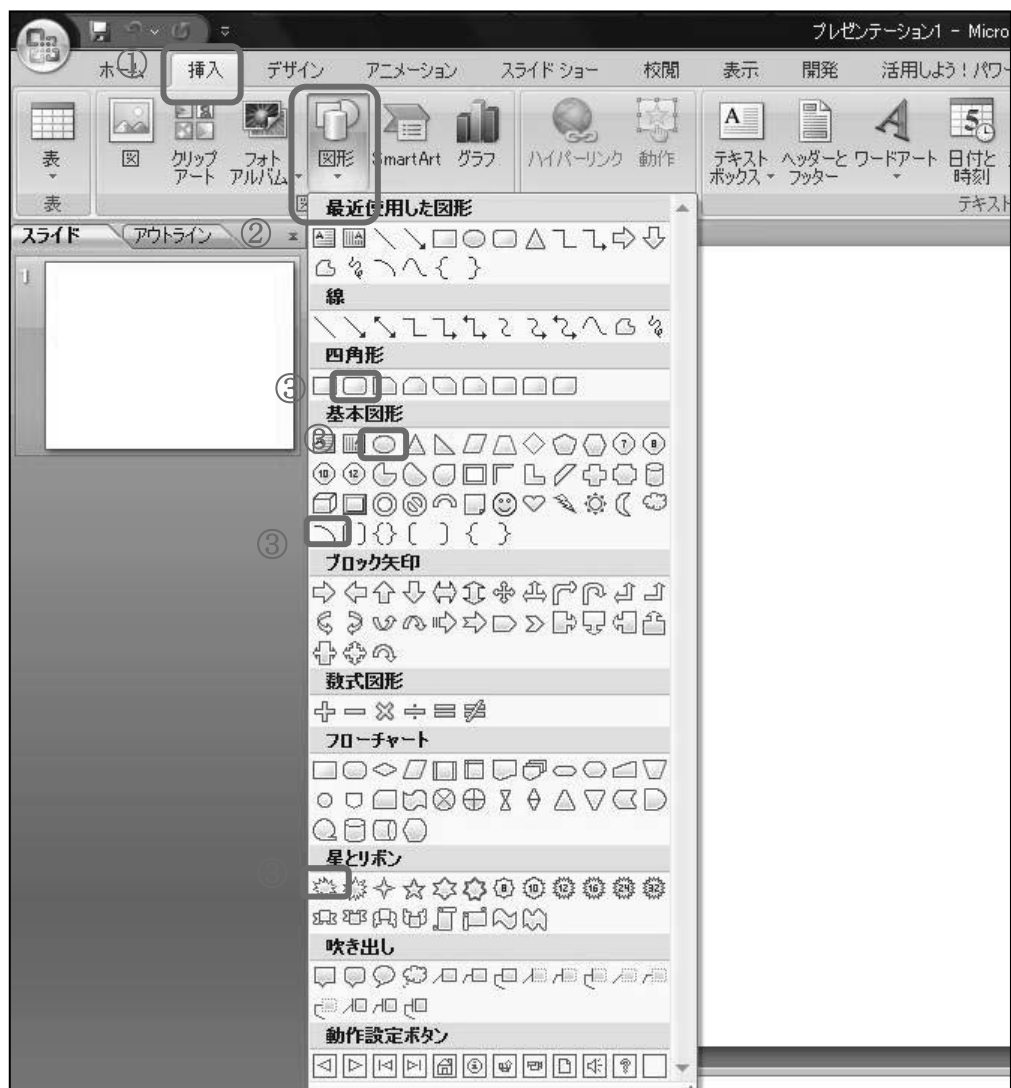
このスライドのイラストは、すべて PowerPoint 2007 に標準搭載されている図形で構成されています。



- 1 顔：図形の [円/楕円・円弧]
- 2 手：図形の [円/楕円・角丸四角形]
- 3 音符：イラスト
- 4 動作のイメージ：図形の [爆発 1]
- 5 胴体：図形の [円/楕円・角丸四角形]
- 6 足：図形の [円/楕円・角丸四角形]

3 スライドに図形を挿入する

- ① 「挿入」タブをクリックします。
- ② 「図形」をクリックします。
- ③ 「四角形」の「角丸四角形」、[基本図形]の「円/楕円」・「円弧」、[星とリボン]の「爆発1」をクリックして、スライド上でドラッグします。



- ④ 図形を移動するには、まず図形の中でクリックしてハンドルを表示し、マウスポインタ  を確認したら、ドラッグして任意の位置に移動します。

4 図形の大きさを変更する

- ① 図形のサイズを変更するには、図形を選択したときに四隅に表示される  にマウスポインタ  を合わせて、ドラッグします。

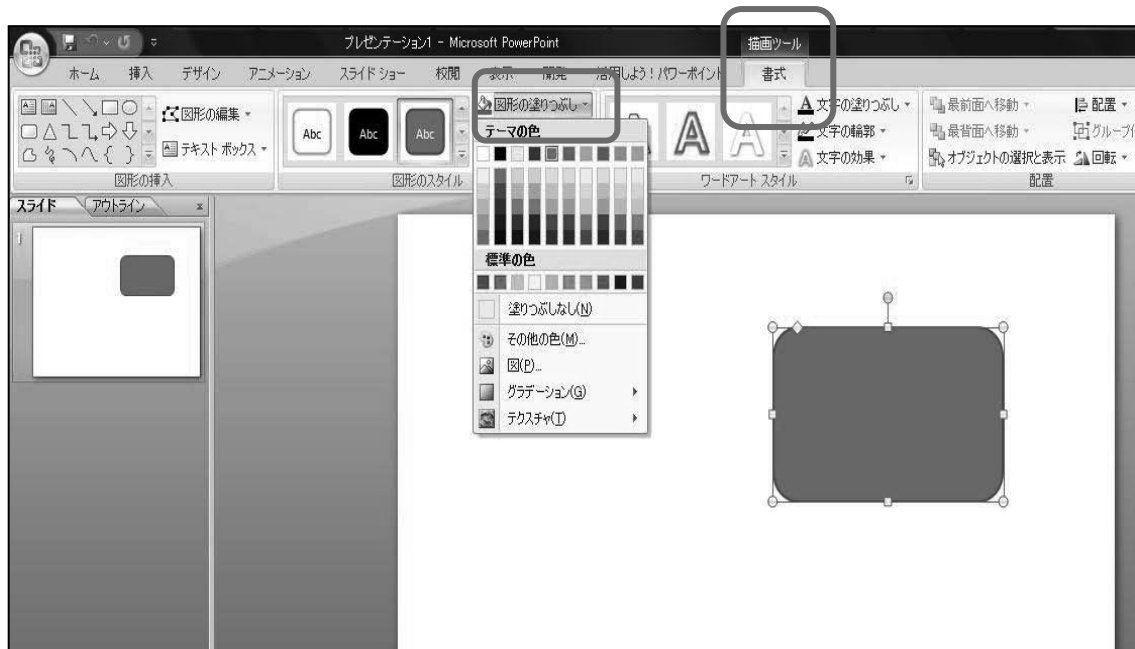
(図形を選択したときに表示される「描画ツール」の「書式」タブをクリックし、「サイズ」グループの「高さ」と「幅」に数値を入力して大きさを変更することもできます。)



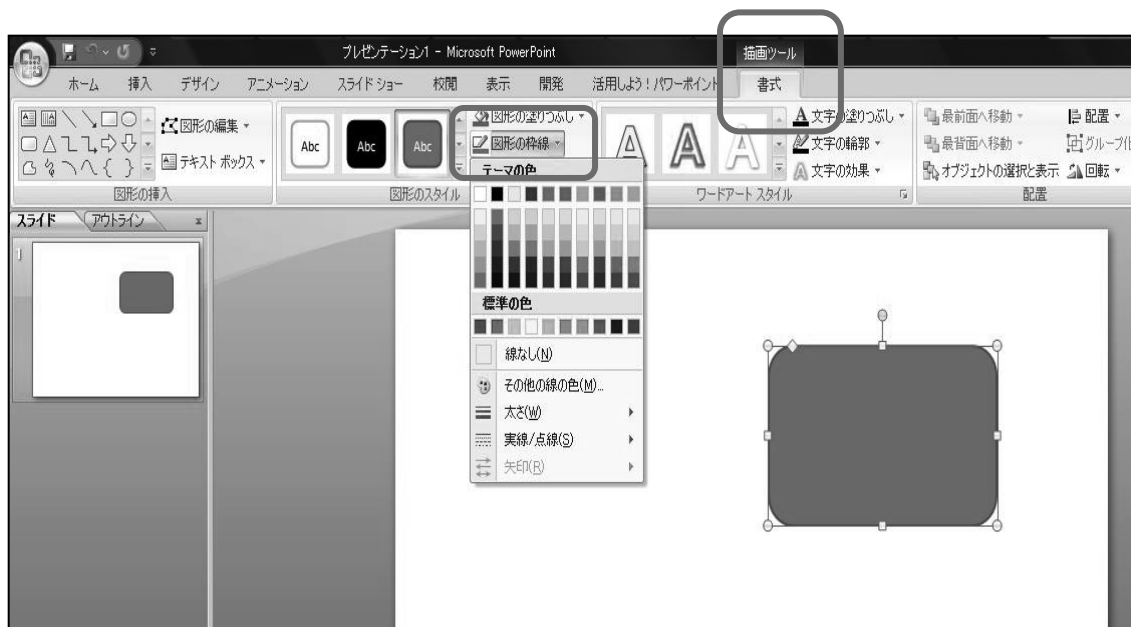
- ② 「図形」を組み合わせ、イラストを描画します。

5 図形の色を変更する

- ① 図形の塗りつぶしの色を変更したいときは、図形を選択して、「描画」ツールの「書式」タブをクリックし、「図形の塗りつぶし」の▼をクリックし、任意の色をクリックします。(マウスポインタを任意の色の上に置くとプレビューできます。)



- ② 図形の線の色を変更したいときは、図形を選択して、[描画] ツールの [書式] タブをクリックし、[図形の枠線] の▼をクリックし、任意の色をクリックします。
(マウスポインタを任意の色の上に置くとプレビューできます。)



6 スライドにイラストを挿入する

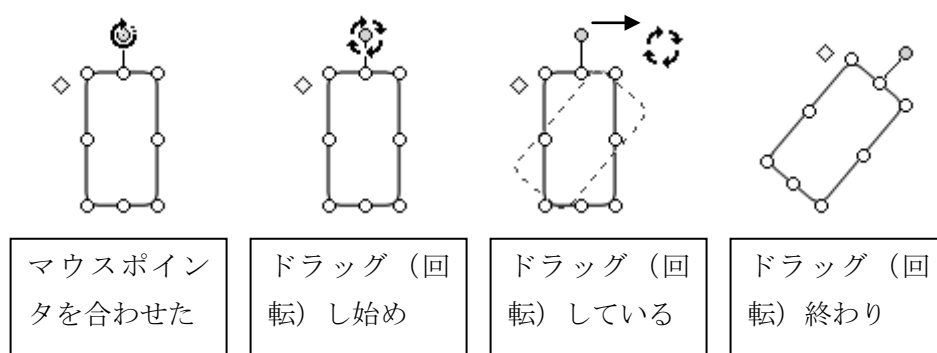
- ① [挿入] タブをクリックします。
- ② [図] をクリックします。[図の挿入] ダイアログボックスが開きます。



- ③ 任意のイラストをクリックし、[挿入] ボタンをクリックします。
- ③ イラストを移動するには、まずイラストの中でクリックしてハンドルを表示し、マウスポインタ  を確認したら、ドラッグして任意の位置に移動します。
- ④ イラストのサイズを変更するには、イラストを選択した時に四隅に表示される  にマウスポインタ  を合わせて、ドラッグします。
(イラストを選択したときに表示される [図] ツールの [書式] タブをクリックし、[サイズ] グループの、[高さ] と [幅] に数値を入力して大きさを変更することもできます。)

7 図形の角度を変更する

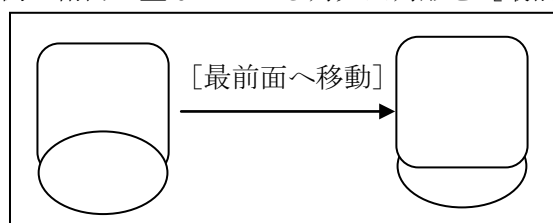
- ① 回転させたい（角度を変更したい）図形を選択します。
- ② 回転ハンドル  にマウスポインタを合わせると、ポインタは  に変わります。
- ③ 回転ハンドルにポインタを合わせたまま、下図のようにドラッグし始めると、マウスポインタは  のように変わります。
- ④ 回転させたい角度までドラッグします。



（図形を選択して、[描画] ツールの [書式] タブをクリックします。[サイズ] グループの右下にある  をクリックすると表示される [配置とサイズ] ダイアログボックスの [サイズ] タブをクリックし、[回転] の数値を入力して回転させることもできます。）

8 図形の重なりを変更する

- ① 重なっている図形のうち、下になっている図形を選択します。
- ② [描画] ツールの [書式] タブをクリックします。
- ③ [配置] グループの [最前面へ移動] の ▼ をクリックします。
- ④ [最前面へ移動] をクリックすると、重なり合っている図形の一番上に表示されます。
（例：楕円と重なっている角丸四角形を [最前面へ移動]）

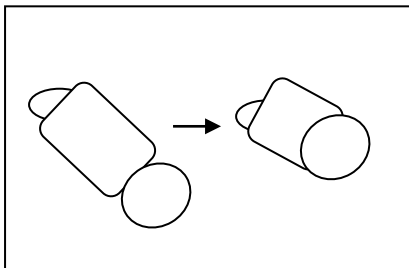


9 スライドを複製する

- ① [ホーム] タブの [スライド] グループ、[新しいスライド] の▼をクリックします。
- ② [選択したスライドの複製] をクリックします。
- ③ ①と②の操作を繰り返します。

10 [図形] のサイズや形を変更して、動きを表現する

- ① 複製したスライドの図形のサイズや形を変更して動きを表現します。



11 すべてのスライドに、画面切り替えを設定する

- ① 左側の [スライドタブ] でスライドを選択します。
- ② [ホーム] タブの [編集] グループの、[選択] をクリックします。
- ③ [すべて選択] をクリックします。

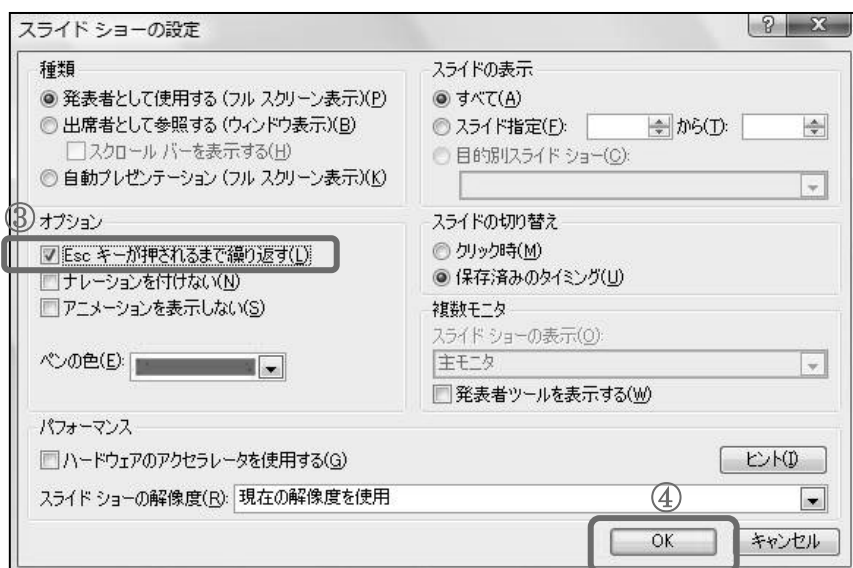
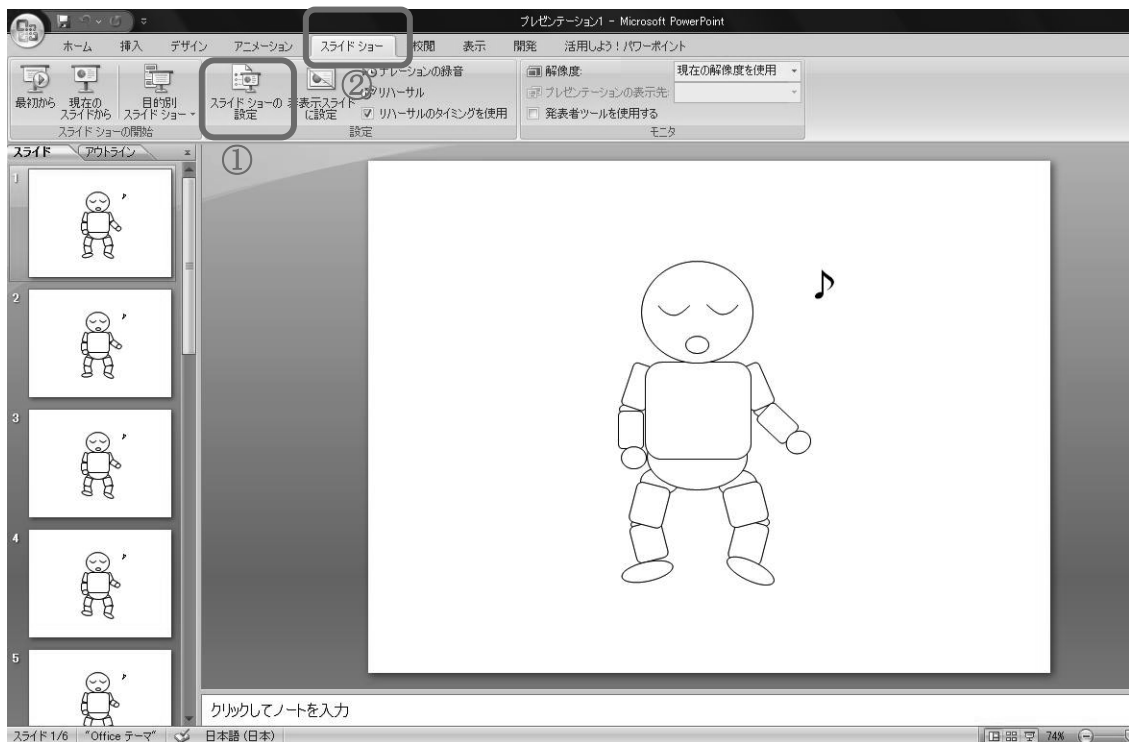


- ④ 「アニメーション」 タブをクリックします。
- ⑤ 「画面切り替え」 グループの「画面切り替えのタイミング」にある「自動的に切り替え」をクリックしてチェックを付けます。
- ⑥ 「自動的に切り替え」の時間を設定します。
(このスライドでは 00:01 に設定しています。)



12 スライドショーの設定をする

- ① 「スライドショー」タブをクリックします。
- ② 「設定」グループの「スライドショーの設定」をクリックします。
- ③ 「オプション」の「Esc キーが押されるまで繰り返す」をクリックしてチェックを付けます。
- ④ 「OK」ボタンをクリックします。



ここまでの操作で PowerPoint 2007 による「アニメーション」スライドが完成します。

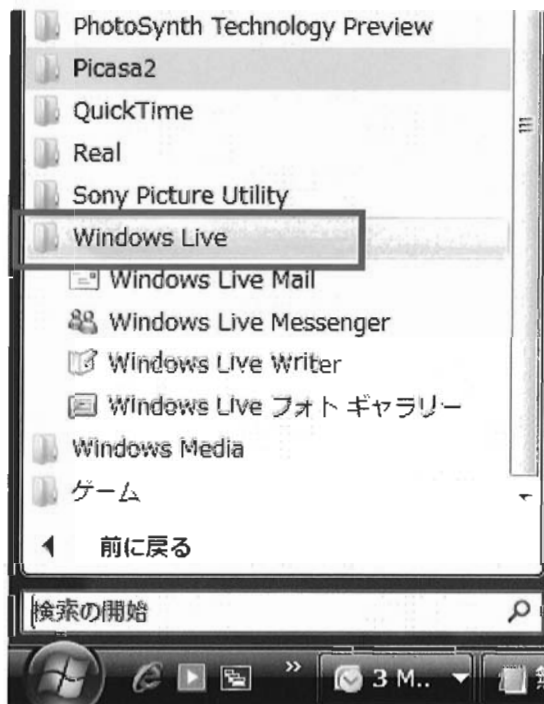
テーマ2 （初級～中級編）

④フォトギャラリー （再掲）

Windows Live フォトギャラリー

I. Windows Live フォトギャラリーを使う

- ① Windows Live フォトギャラリーを立ち上げます。



スタートボタンから「すべてのプログラム」をクリック

「Windows Live」のフォルダをクリックし、
「Windows Live フォトギャラリー」をクリック

(一度起動すると、スタートメニューに
「Windows Live フォトギャラリー」が表示されます)



Ⅱ. パノラマ写真を作ろう

Windows Live フォトギャラリーでは複数の写真を合成してパノラマ写真を作ることができます。



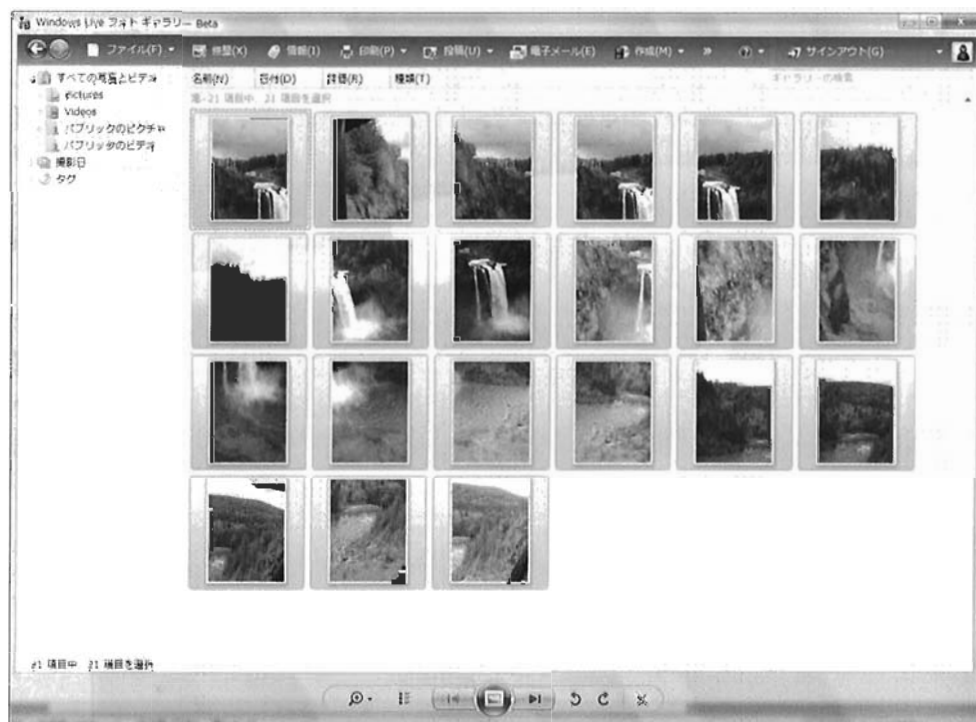
まず写真の撮り方にコツがあります。

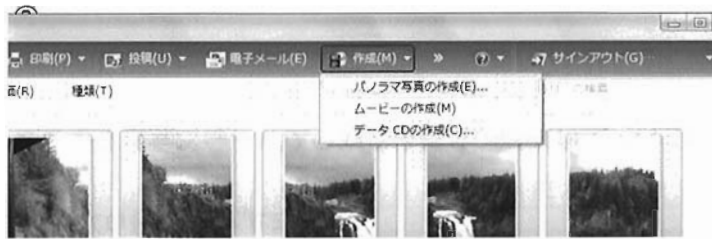
空や人など動いてしまうものだと合成がしにくくなりますので、

このよう空なども建物を入れながら、それぞれの写真を少しずつ重ねるように撮るときれいなパノラマ写真になります。

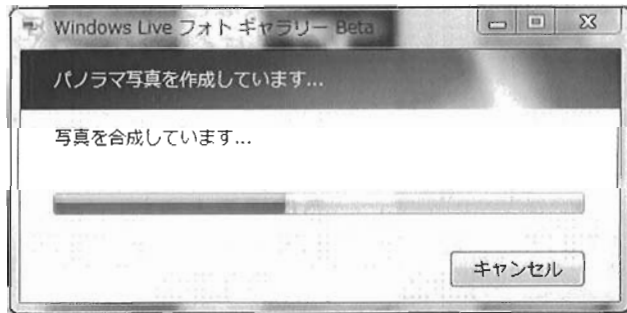
それでは早速合成してみましょう。

① パノラマにしたい写真をすべて選択します。



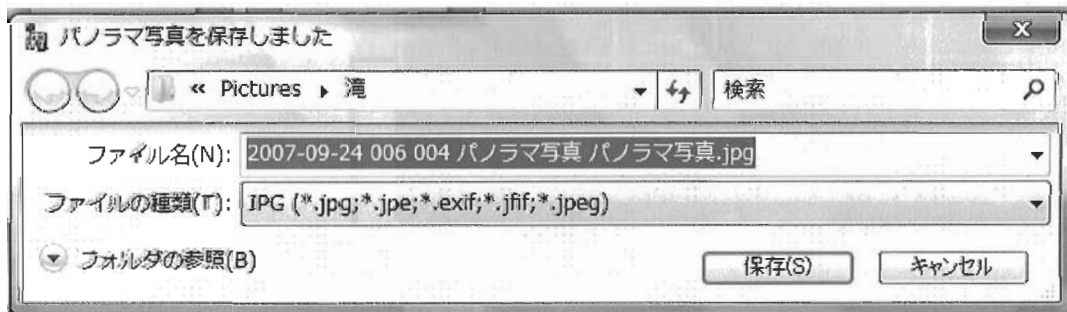


② 上のメニューの「作成」から
「パノラマ写真の作成」を選択します。



写真合成が始まります。

合成が終わると以下の画面が出ます。



③ 保存するファイル名と場所を選んで、「保存」をクリックします。



場所を指定しないと、自動的に
写真と同じフォルダに保存され
ます。

Windows Live
フォトギャラ
リーでは自動的
に写真内の重なる
部分を認識し、
合成します。

④ トリミング機能できれいにします。

上部メニューの「修正」を選ぶと、右側に修正のバーが出てきますので、「画像のトリミング」を選択し、好きな大きさに切り取ります。



きれいに整えたら左上、「ギャラリーに戻る」を押すとこのままフォトギャラリーに保存されます。

テーマ2 （初級～中級編）

⑤ウェブページと画像 （FireWorks を使って）

社会福祉法人プロップ・ステーション主催

石神井特別支援学校 特別セミナー

ウェブ制作と グラフィックソフト

2010年1月6日

特定非営利活動法人日本ウェブ協会 理事長／株式会社BAメカパワーズ 取締役エグゼクティブプロデューサー 森川 眞行

自己紹介

- 1958年（昭和33年）生まれ、大阪芸術大学 芸術学部 美術学科 卒業
大学卒業後グラフィックデザイナーとして従事。アシスタント時代より広告及びエディトリアルデザインを得意とする
- 1985年：大丸百貨店通販カタログのアートディレクターを務める（後にクリエイティブディレクターに昇格）
- 1989年：仕事（デザイン）の道具をコンピュータに変更、画像処理及びDTPに大きく関わる。
- 1983年：DTPの普及啓蒙及び課題解決を目的とした「関西DTP協会」を設立し、初代会長に就任
- 1995年：阪神大震災を機に会長を辞任、通産省に「デジタルクリエート工房」を提案。同時にウェブ制作事業に着手
- 1995年：自宅にて仕事を継続、日経新聞初の「日本のSOHO」特集にて、ネット利用の手法が紹介される
- 1996年：「デジタルクリエート工房」運営開始。全国初のデジタル系インキュベーション施設として注目を浴びる
- 1996年：仕事の生業を完全にウェブ制作にシフトする。当時より大手企業のウェブサイトを多く制作する
- 1997年：自ら作成したホームページ素材（3万点）を無料公開、1日10万ページビュー（当時）の人気サイトとなる
- 1998年：デジタルクリエイター向けメールマガジン「日刊デジタルクリエイターズ」創刊。初代編集長
- 1998年：世界で初めてFireworks（マクロメディア社ソフトウェア）に関する解説サイトを公開
- 1998年：著書「Fireworks徹底検証」執筆。以後雑誌連載や著書刊行（著書7冊：連載4本ほか）
- 1999年：5時間連続のセミナーなどを企画運営、他にも多数のセミナーや講演依頼を請負う（通算150カ所）
- 2001年：活動の拠点を東京に移し、執筆・講演活動と平行し教育素材DVDやCD-ROMを制作販売
- 2004年：都内ウェブ制作会社に勤務、プロデューサーとして多くの企業サイト、公共サイトの設計を手がける
- 2004年：アクセシビリティとクリエイティブを考えるフォーラム「アックゼロヨン」を立ち上げる
- 2005年：多摩美術大学情報デザイン学科にて講師勤務開始（現職）。ウェブサイト構造設計を教える
- 2006年：8月、ウェブ制作会社を退社。アックゼロヨンの活動をすべて引き取る。同時にW2Cを企画
- 2006年：アックゼロヨン・アワード及び表彰式をプロデュース。業界初の内閣総理大臣賞制定を実現させる
- 2006年：サイト構造設計士としても活動を継続。ウェブサイトのプロデュース、設計を手がける
- 2007年：日本ウェブ協会設立。理事長に就任
- 2007年：株式会社BAメガパワーズ取締役プロデューサーに就任
- 2008年：インターネットプロバイダ協会他関連7団体と「Eメール・ウェブ適正利用推進協議会」の設立に発起人として参画

日本ウェブ協会について

- ・ 日本ウェブ協会はNPO法人です
- ・ 日本語のウェブの質を向上させるために活動を行っています

W2C Web development and Web marketing Consortium 特定非営利活動法人 日本ウェブ協会

最新情報

概要

運営体制

活動内容

会員一覧

入会について

セミナー

お問い合わせ

アクセラレーション公式サイト

CMS Conference

「日本語のウェブの質を向上させよう」
サイト利用者の利便性向上のため、ウェブに携わる様々な業種が異業種の壁や、経営の垣根を越えて、共に活動しています。

勉強会・専門講座 2010年1月16日(土)：前編 / 2010年1月30日(土)：後編
使ってもらえるシステム開発・UDDプロセスを理解しよう
RIA導入、検討をこれからで検討されている方、今まさに悩まれている方にお薦め致します

日本ウェブ協会について
日本ウェブ協会は、ウェブが人々の生活の道具として安心して使われ続ける社会となるよう、日本語のウェブサイトの質の向上に寄与し、利用者の利便性が落ちることを目的としています。

最新情報
2009年12月18日
・ メールマガジン126号を発行しました。

2009年12月15日
・ 2009年度臨時総会を行いました。提出議案は承認され、山崎正弘氏(有限会社ヘルツ)が新任理事として着任しました。

・ 臨時総会終了後は、日本ウェブ協会2009年忘年会を行いました。多くの会員が参加し、自己紹介やWG活動報告、プレゼンテーションなどを行いました。

2009年12月13日
・ 「勉強会・専門講座」の開催が決定しました。今回の専門講座「使ってもらえるシステム開発・UDDプロセスを理解しよう」前/後編」では、UDD (User Interface Driven Development) というU先行型の開発プロセスに着目しました。利用者にとつての「使いやすい」は、RIAの環境下に於いても達成しなければならない重要な要素です。

毎月2回発行
W2Cメールマガジン
購読申込受付中
会員以外の方も購読いただけます

会員リンク
株式会社アイ・エム・ジェイ
株式会社アイワット
株式会社アークウェブ

<http://w2c.jp>

今日の授業（予定）

- 10時～：ウェブで取り扱う画像について
- 11時～：実際にグラフィックソフトを触ってみよう-1（パスとテキスト）
- 12時～：休憩（昼食）
- 13時～：実際にグラフィックソフトを触ってみよう-2（ビットマップ）
- 14時45分：総評
- 15時：終了

ウェブページと画像

- ・ ホームページはテキストと画像で構成されていることが多い

Prop Station
社会福祉法人 プロパ・ステーション

English

文字サイズ

↑A 大きくなる

↓A 標準サイズにする

ホーム

プロパについて

ナミねえの部屋

活動内容

プロフィール

海外連携

チャレンジ情報

画像部分

障害者からチャレンジドへ

ICTを駆使してユニバーサル社会の実現をめざす

コンピュータ・インターネットなどのICT（情報とコミュニケーション技術）は、チャレンジド（the Challenged）障害者もつな／挑戦という使命やチャンスを与えられた人／や高橋孝一、そして全ての人の生活にとって、今や欠かせない重要な道具になっています。わたしたちは、ICTを駆使して、すべての人が「持てる力を発揮し、支え合う」という誇りを持つて生きられる「ユニバーサル社会（共生・共助社会）」の実現をめざします。

テキスト部分

2010年 謹賀新年

トピックス

2010年1月5日 新春対談 廣口一博 総務大臣 & ナミねえ

2010年1月4日 あけましておめでとございます！
廣口一博、悠（はるみ）ちゃんとお互いの新年の抱負を語り、悠（はるみ）ちゃん（大平光代さん）のご自宅を訪問させて頂きました～ by ナミねえ

2009年12月25日 ナミねえは、12月24日に首相官邸で開催された雇用戦略対話第2回会合に出席しました。

2009年12月17日 プロパ・パバコンセサニー出身の「わびさけ」こと川本浩之さんが、ひょうご人権ジャーナル「まっすな（KIZUNA）」2009年12月号で紹介されました！

2009年12月11日 「兵庫県社会福祉受給記念 ナミねえライブ」を開催させて頂きました！

2009年12月9日 アメリカ大使館のお招きで、オバマ大統領演説会に出席しました
オバマ大統領演説の音声を日本放送

ナミねえの部屋

ようこそ、ナミねえの部屋へ！ 勇気と元気を一緒に。

- ご挨拶
- オビニオン
- プロフィール
- 講演のお申し込み
- ナミねえのスケジュール帳
- 著作・著述
- メルマガ登録お申し込み
- ナミねえの写真集

講演などにご利用ください

challenge(チャレンジド)と

「ナミねえ」の部屋

- ・ ホームページは、HTMLという言語で記述する
- ・ 画像（グラフィック）は別に作成して、読み込む

■ 画像はグラフィックソフトを使って作ります

- ホームページに表示させる画像は、グラフィックソフトを使って作る
- ホームページで表示する画像のデータ形式は決まっている
- GIF、JPEG、PNGという3種類のデータ形式であればよい
- グラフィックソフトは、この3種類のどれかで、書き出すことができれば、何を使ってもよい
- 一般的には、専用のグラフィックソフトを使う事が多い
- 代表的なグラフィックソフトは、以下が多い（特にプロの場合）
 - Fireworks (ファイアーワークス)
 - Photoshop (フォトショップ)
 - Illustrator (イラストレーター)

代表的なグラフィックソフトの比較

• Photoshop

- ラスターデータ編集ソフト
- ビットマップ加工編集ソフト
- 写真を加工するための専用ソフトとして産まれた
- 元々は印刷用のデータを作るためのソフト
- プロ用なので、多機能だが操作が難しい
- 取り扱うことのできるデータ形式はビットマップ

• Illustrator

- ベクターデータ編集ソフト、ドローソフトとも言う
- パス形式で図形や、文字を作成、編集、加工できる
- 元々は印刷用のデータを作るためのソフト
- 取り扱うことこのデータ形式は、ベクター（パスやテキスト）
- ウェブの画像を作る際は、Illustratorで作ったファイルをさらにPhotoshopで編集することが多い

• Fireworks

- ラスター、ベクター編集ソフト
- ウェブの画像作成のための専用ソフト
- ラスター（ビットマップ）もベクター（パスやテキスト）の両方を取り扱うことができる
- ウェブ専用なので書き出し機能も充実している

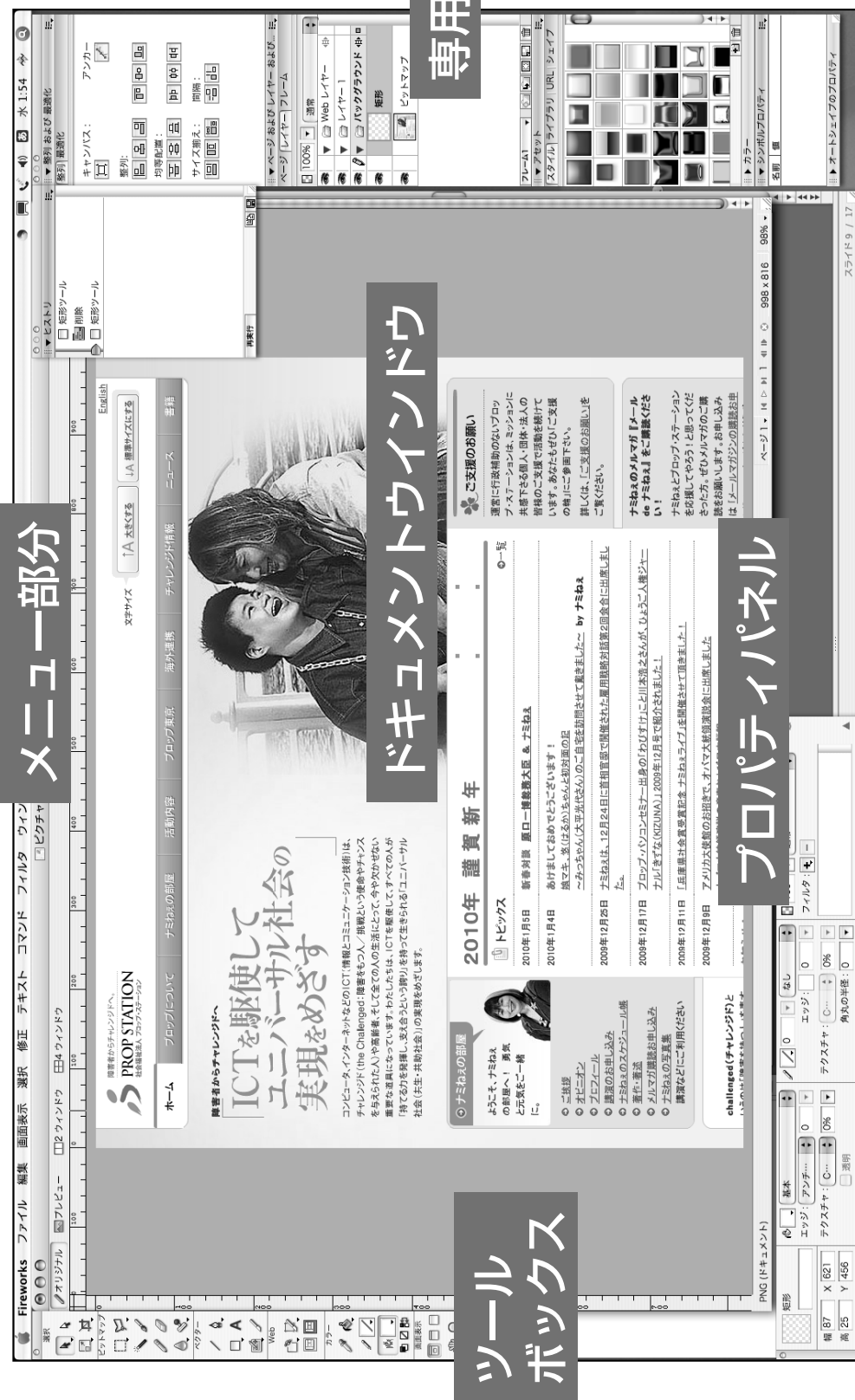
画像制作工程には、2種類のデータ形式があります

- **ラスター形式**
- ビットマップ形式とも言う
- ビット（ドット）の集まりで形成されている
- 写真のような連続した階調のデータである
- 拡大縮小を頻繁に行うと、画像が劣化する

- **ベクター形式**
- パスやテキストなどを取り扱う
- コンピュータ上の数値計算によって作られているので、拡大縮小しても劣化しない
- 形や色、線などの属性を変更することが簡単

Fireworksを起動してみよう

- 最初に画面サイズ（キャンパスサイズ）を設定して新規ドキュメントを作る
- ウェブで取り扱う、数字の単位は「ピクセル」を使用する
- メニュー、ツールボックス、プロパティパネル、専用パネルによって構成される

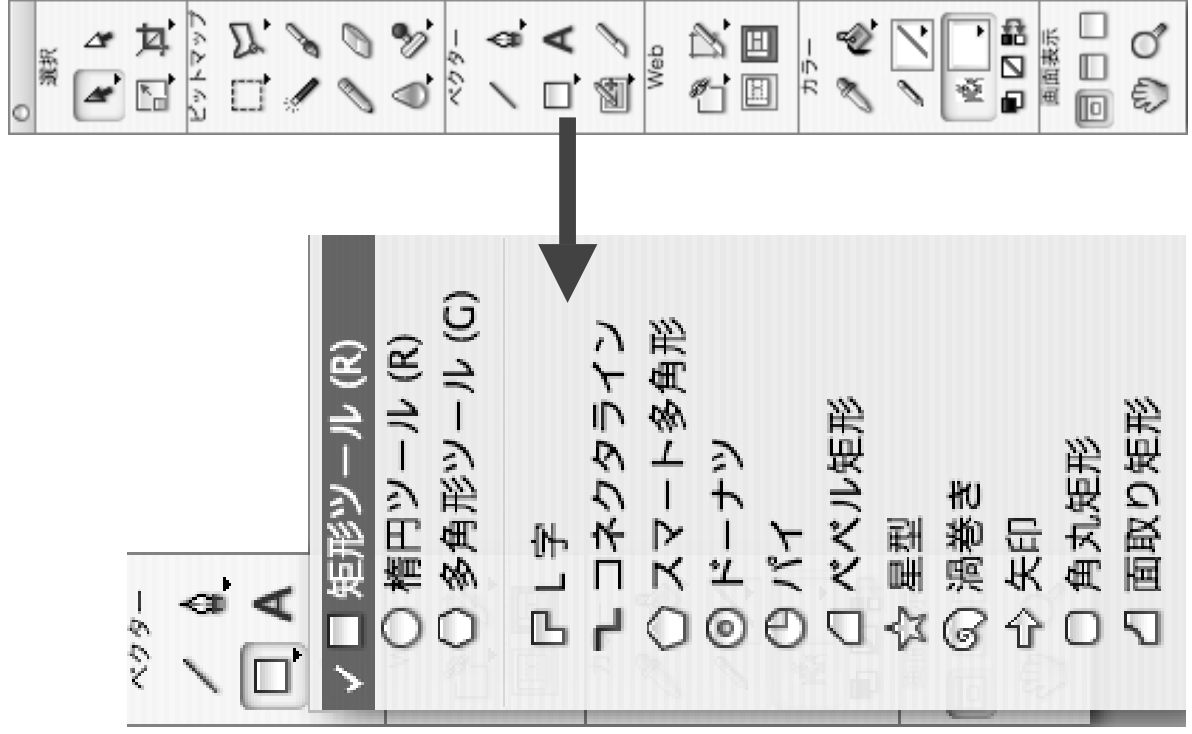


■ Fireworksの基本操作

- **メニュー**
 - ・ 目的別に作業の内容が格納されている
- **ツールボックス**
 - ・ 目的別にパネルが分類されている
 - ・ ツールを切り替えて、オブジェクトを作成したり、操作する
- **プロパティパネル**
 - ・ 選択しているオブジェクトの属性を変更できる
 - ・ 塗りや線、エフェクトなど
 - ・ 選択したツールの機能を設定できる
- **専用パネル**
 - ・ 目的別に専用のパネルが用意されている
 - ・ 広げたり畳んだりできる。移動もできる
 - ・ 表示されていない場合は、ウィンドウメニューから探す

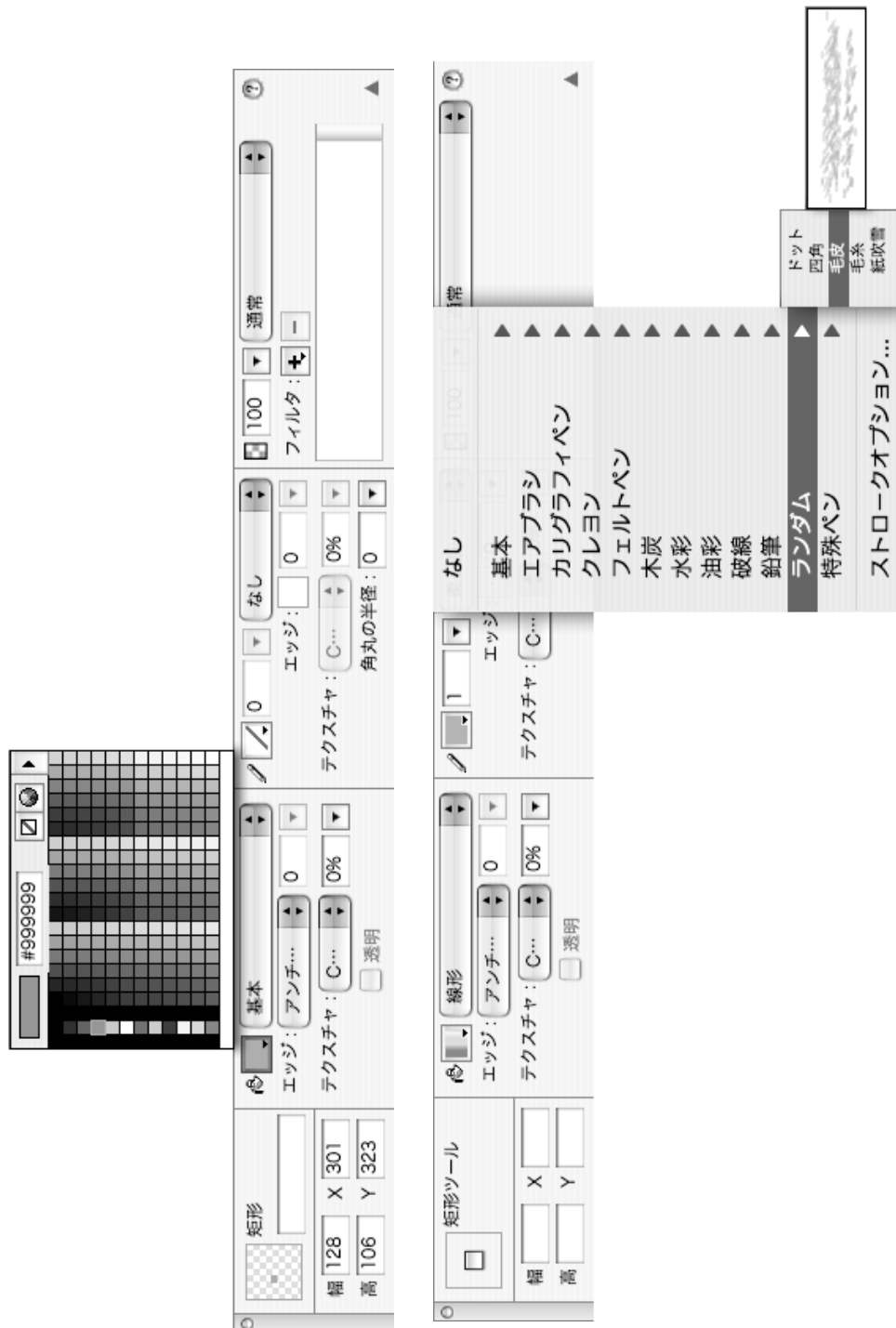
■ パスオブジェクトを作ってみる

- ツールボックスの「ベクター」と書かれたエリアからツールを選択する
- 矩形ツールや楕円ツールを使ってみよう
- 色々な図形を作ってみよう
- テキストツールを使って文字を作成しよう
- 作成したテキストオブジェクトは、プロパティパネルを使って、フォントや大きさを変更できる



パスやテキストの色や線を設定する

- パスオブジェクトを選択して、プロパティパネルで塗りや、線の設定を行う
- 塗りは単色塗り、グラデーション、パターン塗りを憶えよう
- さらに線の種類や太さも変更できる



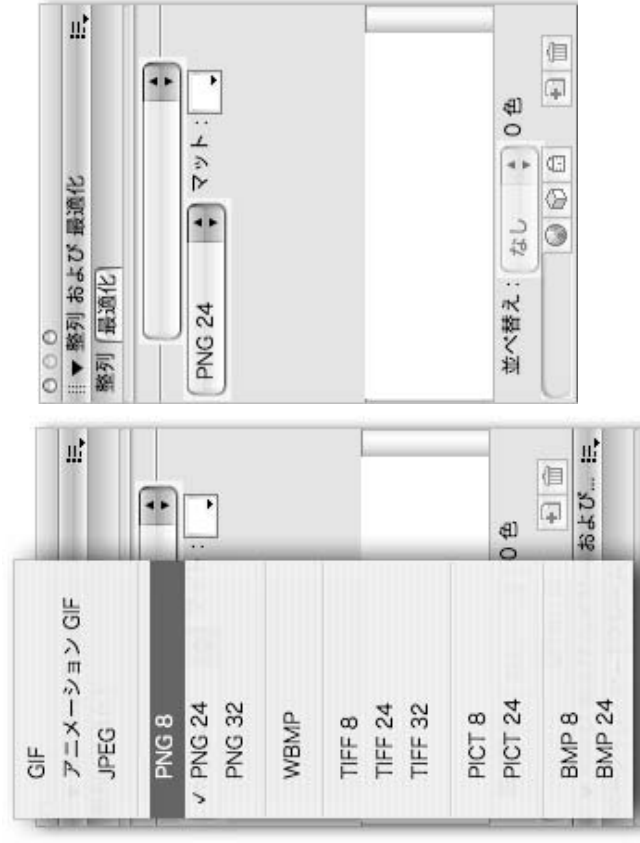
オブジェクトの大きさを変えたり、回転させる

- 全てのオブジェクトは拡大・縮小ができる
- 回転させることもできる
- パスオブジェクトやテキストオブジェクトは拡大縮小や回転させても、画質が劣化しない
- ただし、ビットマップ（写真）は劣化するので注意



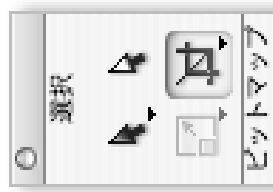
データの保存と書き出し

- 作成したデータを保存する場合は、[ファイル] → [保存]
- Fireworks形式のPNGデータとして保存される
- いつでも続きがはじめられる
- ウェブ用のデータとして書き出す場合は、最適化パネルを使う
- 連続する色が少ない場合は、PNG8で保存
- 写真などの色が多い場合は、PNG24で保存する



ビットマップオブジェクト

- 撮影した写真データをFireworksで開く
- 写真のデータは、ビットマップオブジェクトとして扱う
- まずは写真のサイズを決めよう
- オブジェクトを選択していない状態で、プロパティパネルからイメージサイズで、写真の大きさを変更する
- トリミングを行う場合は、切り抜きツールを使う



■ ビットマップオブジェクトを加工する

- ビットマップに直接ブラシで書き込むことができる
- 消しゴムツールを使って消去することもできる
- マーキー（選択範囲）を使うともっと色々できるよ

■ ホームページのタイトルを作ってみよう

1. 写真を撮影する
2. Fireworksで写真のデータを開く
3. ウェブ用に適正なサイズにする（横幅は800～920ピクセルくらい）
4. トリミングもしてみよう
5. パスオブジェクトを書き込んでみよう
6. テキストオブジェクトでタイトル文字を入れよう
7. それぞれのオブジェクトを動かしたり、色やエフェクトをかえてみよう